

説明ターゲット

次の原稿不鮮明な部分あり

0352~0501

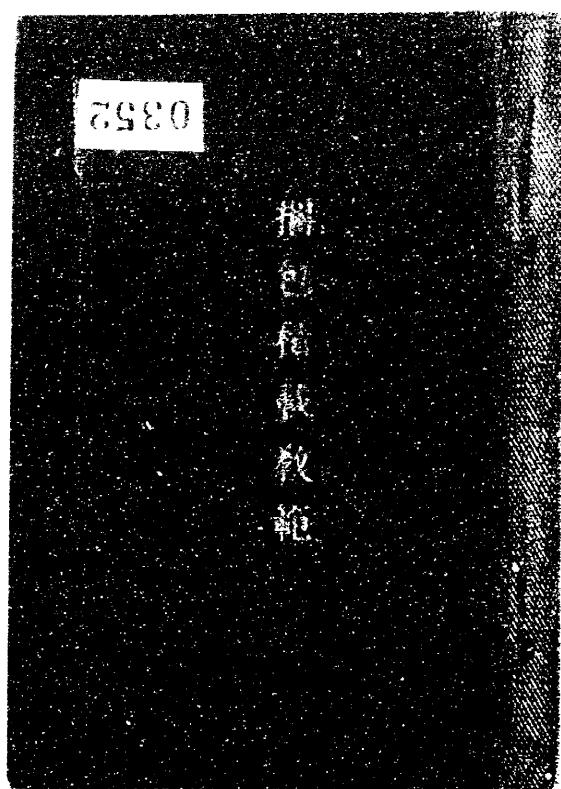
7年5月23日

主務者又は

撮影立会者 坂根嘉和



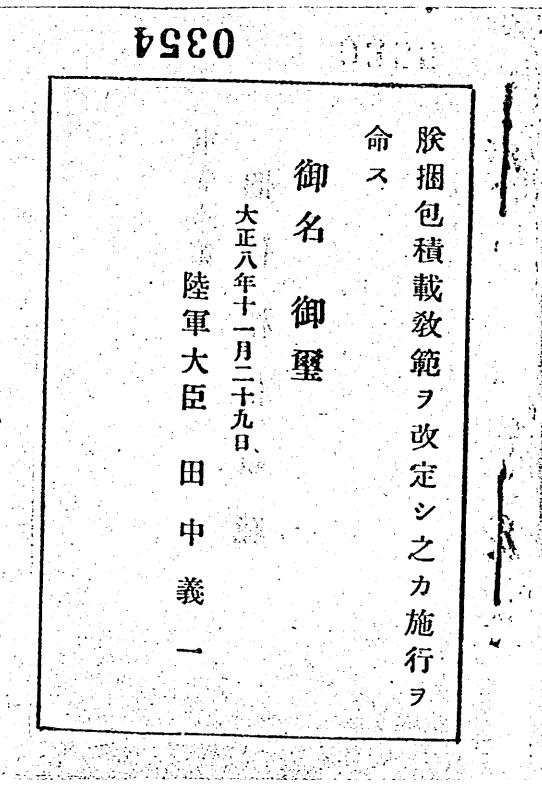
アジア歴史資料センター



0353

昭和四年四月十一日
第一回
アーヴィング

スミス・アーヴィング



0355

軍令陸第二十七號

捆包積載教範

0356

捆包積載教範目次

(總則)

第一章 捆包

(要則)

捆包一般ノ方法

各種兵器物品ノ捆包

箱

步兵通信器材

步兵小行李衛生材料及器具

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

目次

目次

工兵小行李器材	二十五
大行李物品	二十六
衛生隊小行李物品	三十三
電信隊器材	三十四
橋架綫列器材	三十五
第二章 駄載	三十
駄載要則	三十六
駄載一般ノ方法	三十九
各種兵器物品ノ駄載	四十二
歩兵通信器材	四十三

步兵小行李衛生材料、彈藥及器具	四十三
工兵小行李器材	四十五
第三章 車載	
要則	四十七
車載一般ノ方法	四十七
各種兵器物品ノ車載	四十九
箱	
大行李物品	五十九
電話隊器材	六十三
衛生隊小行李衛生材料	六十四

目次

四

野戰病院衛生材料	六十五
步兵彈藥縱列彈藥	六十七
砲兵彈藥縱列彈藥	六十七
電信隊器材	六十八
架橋縱列器材	七十八
附錄	
第一章 駄馬具及輶馬具ノ裝脫並積載卸下ノ爲 駄馬、輶馬ノ保持	九十五
駄馬具ノ裝脫	九十五
輶馬具ノ裝脫	百

積載卸下ノ爲駄馬、乾馬ノ保持	百二
第二章 部隊捆包	百三
第三章 車載品ヲ駄載スル爲ノ捆包及駄載	百五
捆包	百五
大行李物品	百五
衛生隊小行李物品	百七
步兵彈藥縱列彈藥	百八
電信隊器材	百九
駄載	百九
架橋縱列器材(舊式)	百十八

目次

箱	百一十八
大行李物品	百二十一
衛生隊小行李物品	百二十三
步兵彈薈綫列彈藥	百二十六
電信隊器材	百二十八
架橋縱列器材(舊式)	百三十五
第四章 自動貨車ニ積載スル兵器物品ノ捆包及 積載	百三十六
捆包積載教範目次終	

0362

捆包積載教範

總則

- 第一 捆包ハ軍需諸品ノ積載ヲ便ナラシムルト共ニ其破損紛失ヲ防キ積載ハ之カ輸送ヲ確實且容易ナラシムルヲ以テ目的トス
- 第二 捆包積載ヲ爲スヘキ兵器物品ハ其種類頗ル多シ而シテ本教範ニ掲タル方法ハ一般ノ基準トナルヘキモノナルヲ以テ十分之ヲ訓練シ各種ノ場合ニ應用スヘキモノトス
- 第三 本教範ニ示ス捆包積載ハ兵卒各個ニ之ヲ教育スルノ精神ヲ失ハサル如ク行フヲ要ス

總則

- 第四 捏包積載ハ確實ニシテ簡易ナルヘク其動作ハ敏速ニシテ
靜肅ナルヲ要ス而シテ之カ教育ニ方ソテハ先ツ確實ヲ主トシ漸
次敏速ヲ求ムルノ順序ニ依ラサルヘカラス
- 第五 捏包積載一般ノ方法ハ作業ノ基礎トナルヘキモノナルヲ
以テ最モ綿密ニ實施スルヲ要ス
- 第六 捏包積載ノ教育ニ在リテハ兵卒ヲシテ教育上基礎トナル
ヘキ兵器物品(梱包ニ在リテハ箱、步兵小行李隊、同器具袋、電柱及板、砍
裁ニ在リテハ小銃、藥箱、步兵小行李隊及同器具袋、車載ニ取
料ノ關係ニ依リ要スレハ他ノ類似ノ兵器物品ヲ用ノルコトヲ得
セシム)漸次各種兵器物品ノ捏包積載ニ及ホスヲ要ス
- 第七 兵卒前條ノ作業ニ習熟スルニ至レハ應用作業ノ教育ヲ始

ムヘシ而シテ此教育ハ主トシテ制式品ニ就キテ行ヒ應用品ニ關スルモノハ、輜重ノ本務ニ鑑ミテ品種ヲ定メ、時機ヲ求メテ實習セシムヘシ。

第八 捏包積載ハ夜間之ヲ實施セサルヘカラナルコト多シ故ニ兵卒晝間ノ作業ニ習熟スルニ至レハ夜間作業ノ教育ヲ始メ之ヲ練習セシムルヲ要ス。

第九 捏包積載ノ教育ニ在リテハ、兵卒ニ模範ヲ示シ且簡單適切ニ要點ノ説明ヲ爲シ各自ニ之ヲ實施セシメ以テ其要領ヲ十分會得セシムルヲ要ス而シテ兵卒ノ動作特ニ要點ノ實施ニ注意シ過誤ヲ發見セハ直ニ之ヲ矯正スベシ是一タヒ作業完成セハ其過誤

ヲ修正スルコト困難ナレハナリ尙作業完成後ニ於テモ所要ノ検査ヲ行ヒ要スレハ兵器物品ヲ搖リ動カシ或ハ駄馬、鞍馬ヲ行進セシムル等ノ手段ニ依リ作業ノ缺點ヲ了解セシムルコトヲ勉ヘシ。

捆包積載ノ教育ニ伴ヒ兵器物品ノ名稱及用途ノ大要ヲ教育シ且其尊重心ヲ養成スルコトヲ勉ムヘシ。

第十 捆包積載ノ教育ニ在リテハ兵卒ヲシテ精神氣力ヲ籠メ作業ニ從事セシムルト共ニ軍紀ノ涵養ニ勉メ又二人以上一組ニテ作業ヲ行フトキハ協同動作ヲ確實ナラシムルヲ要ス。

第十一 教育ノ進歩ト共ニ兵器物品ノ種類、形態、重量等ヲ視

9980

察シ直ニ其組合セ及作業ノ方法ヲ判別實施シ得シムル如ク其識
力ヲ養成シ且漸次臂力ヲ發達セシメ以テ作業ニ對スル自信力ヲ
増進セシムルヲ要ス
第十二 捱包積載教育ノ爲演習材料トシテ兵器物品ノ模造品ヲ
用フルトキハ其形態、重量等ヲ概不制式品ト同一ナラシムヘシ
第十三 捱包ニ在リテハ作業ヲ容易ニシ積載ニ在リテハ兵器物
品ヲ集積スル爲要スレハ枕木ヲ用フルモノトス
第十四 捱包積載教育ノ爲服装、馬装及車輛ノ裝備ハ教育ノ進
度ニ應シ適宜之ヲ定ムヘシ但軍刀ヲ帶フル者ハ作業中之ヲ除カ
シムルコトヲ得

總則

五

捆包

第十五 本教範ニ示ス諸課目及其要求程度ハ兵科ノ必要ニ鑑ミ
之ヲ取捨斟酌スヘキモノトス

第一章 捆包

要則

第十六 捆包作業ノ要ハ兵器物品ノ組合セラ順序正シク整ヘ其

要部ヲ結束スルニ在リ、

第十七 兵器物品ヲ捆包スルニハ積載ノ要求ニ基キ其種類、形

態、重量等ニ應シ組合セ及捆包ノ方法ヲ定ムルヲ要ス

第十八 兵器物品ヲ組ミ合セ之ヲ包ミ又ハ箱、袋等ニ收ムルト

キハ各品互ニ密接シテ安定ヲ得特ニ破損シ易キモノニ在リテハ
荷造網又ハ繩ノ経路ヲ避ケテ位置セシムルモノトス
第十九 荷造網又ハ繩ヲ以テ兵器物品ヲ結束スルニハ通常一周
以上之ヲ經フモノトス
第二十 捆包用ノ繩ハ兵器物品ノ種類、形態、重量等ニ應シ其
太サヲ定ムルヲ要ス而シテ教育ノ初期ニ在リテハ豫メ所要ノ長
サニ切斷スルモ習熟スルニ至レハ長キ儘之ヲ使用スルモノトス
第二十一 兵器物品ニ横繩及縱繩ヲ掛クルニハ各、二周ノ爲横
繩ハ横圍ノ約二倍半、縱繩ハ縱圍ノ約三倍ノ長サヲ要スルモノ
トス

6930

第二十二 捆包ハ通常一人ニテ行フモ二箇所以上同時ニ結フヲ
要スルカ大形又ハ重量大ナル兵器物品ニ在リテハ二人以上ニテ
之ヲ行フモノトス

第二十三 捆包ヲ解クニハ概ネ捆包ト反對ノ順序ニ行フモノト

ス
第二十四 捆包スヘキ兵器物品及捆包材料ハ作業前豫メ作業ノ
順序ヲ顧慮シテ之ヲ整置ス此際長側短側ノ區分アルモノハ其短
側ヲ又長キモノハ其兩端ヲ前後ト爲メ如クスルモノトス
第二十五 捆包ヲ行フニハ兵卒ヲ兵器物品ノ後方ニ位置
ナルトキ

0370

ハ二列ニ整セシメタル後「捆包用意」ノ號令ヲ下ス此號令ニテ兵卒
列セシムハ駆歩ヲ以テ兵器物品ノ所ニ到リ定位
ハ前後兩端ニ分レテ位置ス三人以上ナルトキハ後端二人ナルトキハ上記ノ要領ニ從ヒ兵器物品ノ兩側ニ位置スニ就ク
次ニ「始メ」ノ號令ヲ下ス此號令ニテ兵卒ハ作業ヲ始メ作業終レ
ハ「捆包用意」ノ定位ニ復スルモノトス
第二十六 捆包ヲ行フニハ通常兵器物品ノ右側ニ於テス但組合セ等ヲ要スルトキハ先ツ之ヲ爲シタル後上記ノ位置ニ移ルモノトス
第二十七 捆包ヲ行フニハ適宜足ヲ踏ミ開キ通常腰ヲ下クルコトナク確實ニ體ヲ構フルヲ要ス

捆包

九

0371

第二十八 荷造綱又ハ繩ヲ角形ノ兵器物品ニ掛クルニハ其端ヲ
荷造綱ニ在リテハ四握程四十共約繩ニ在リテハ二握程出タシテ左
手ニ握リ掌ノ膨フクダラノ所ニテ兵器物品ノ前方上角ニ當テ堅ク之ヲ押
サヘ右手ヲ以テ綱又ハ繩ヲ逆ニ取り兵器物品ニ直交スル妙ク導
キテ緊張シ角ニ托シテ繩メ逐次此ノ如クシテ兵器物品ヲ一周シ
左手ノ所ニ持チ來タシ爾後同要領ニテ既ニ纏ヒタル綱又ハ繩ノ
右側ニ密接シテ纏ヒ前方上角ノ稍、下ニテ角結ト爲スモノトス

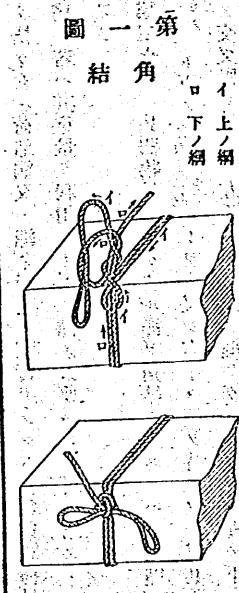
第二十九 荷造綱又ハ繩ヲ角形ナラナル兵器物品ニ掛クルニハ
一周繩フ毎ニ之ヲ引キ締ムル外概ネ前條ニ準シテ行ブモノトス

第三十 兵器物品ノ種類ニ依リ其構造、内容等妨ナキモノニ限

リ掛ケタル荷造網又ハ繩ノ緊縛ヲ確實ナラシムル爲兵器物品ヲ
搖リ若ハ其重量ヲ利用シテ引き締メ又要スレハ脚ヲ用フルコト
アリ

第三十一 兵器物品ニ掛ケタル繩ヲ角結ト爲スニハ上ノ繩
モノタルト下ノ繩右手ニ取りトヲ交叉シ右手ニ繩ヲ持チタル儘其手ニ
テ交叉點ヲ抑サヘ左手ヲ以テ上ノ繩ヲ既ニ繩ヒタル繩ノ下ニ通
シ交叉點ニ對シテ引キ締ム次ニ左手ニ下ノ繩ヲ持チ換ヘ拇指
食指ニテ交叉點ニ就キ繩ノ根ヲ堅ク持チ右手ヲ以テ其繩ヲ適
宜ノ環ト爲シ根ト共ニ左手ニ保チ上ノ繩ヲ環ノ中ニ在ラシム次ニ右手ヲ以テ環ノ中ニ在ル繩ヲ取リ環ノ根ニ沿ヒ右ヨリ一回適

度ニ引き締メツツ廻ハシ再ヒ環ノ中ニ通シ左手ノ拇指ニテ弛マ
サル如ク其根ヲ歴シ右手ニテ環ト爲シタル繩ノ端ヲ引き締ム
荷造綱ヲ用フル場合ニ在リテハ環ノ中ニ在ラシムル綱ヲ引解ト
爲シ置クモノトス(第一圖)



第一圖
第

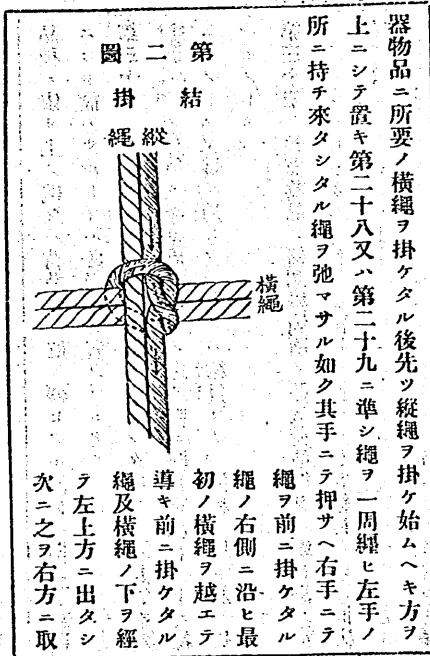
0374

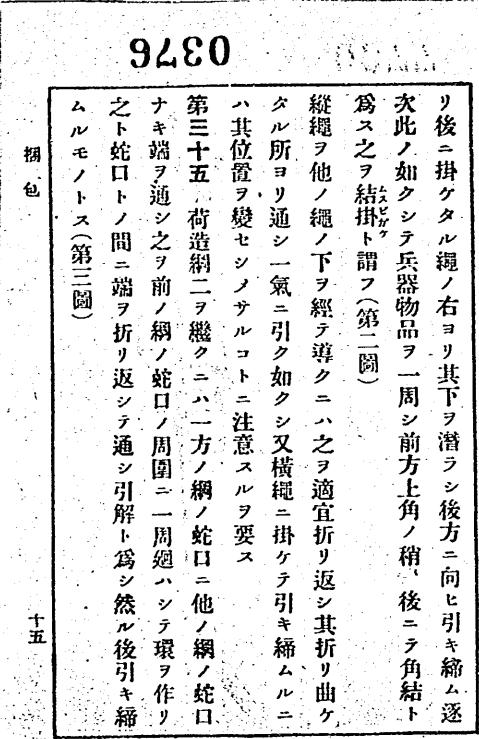
品種ニ依リ上ノ繩又ハ荷造網ヲ既ニ纏ヒタル繩又ハ網ノ下ニ通
スコト能ハサルトキハ此操作ヲ省クコトアリ
第三十二 荷造網ヲ以テ兵器物品ヲ結束シタルトキハ其餘端引
ト爲シタルハ確實ニ纏メ成シ得レハ之ヲ既ニ纏ヒタル網ノ下ニ挿
ムモノトス又繩ヲ用ヒタルトキハ結目ヨリ一握程ノ所ニ於テ切
ルモノトス

第三十三 兵器物品ノ横圍敷箇所ニ逐次荷造網又ハ繩ヲ掛クル
トキハ先ツ中央部ヨリ始メテ兩端ニ及ホシ又其結目ハ之ヲ同方
側ニ在ラシメ且之ヲ同高ナラシムモノトス

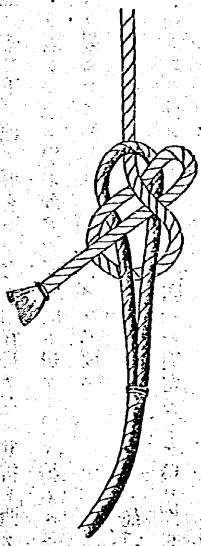
第三十四 繩ヲ縦横ニ交叉シテ細包スル爲縦繩ヲ掛クルニハ兵

0375



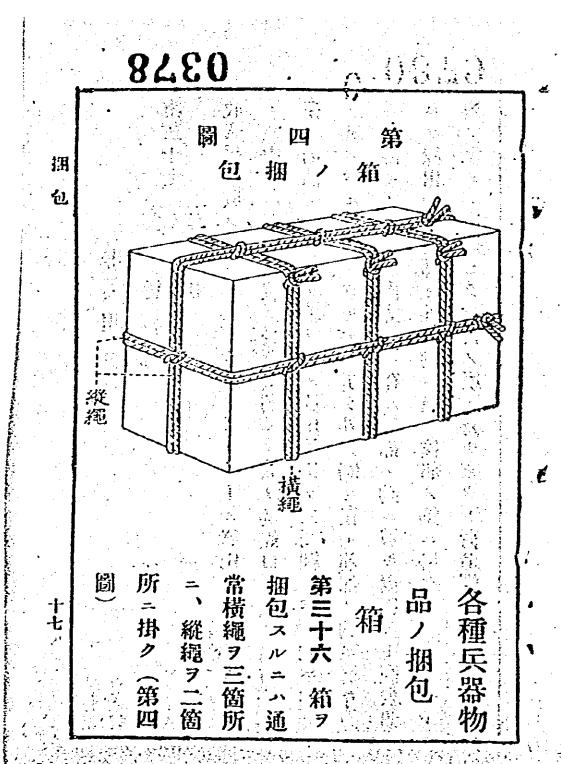


第三圖 第一
荷造網ノ綱方繼



足シテモノトスルトキハ其部ノ捺リヲ二握程戻シ葉ヲ補足
綱ノ繼ギ足シ要スルトキハ其部ノ捺リヲ二握程戻シ葉ヲ補足

0377



捆包

十八

歩兵通信器材

第三十七

器具罐

及蓋具

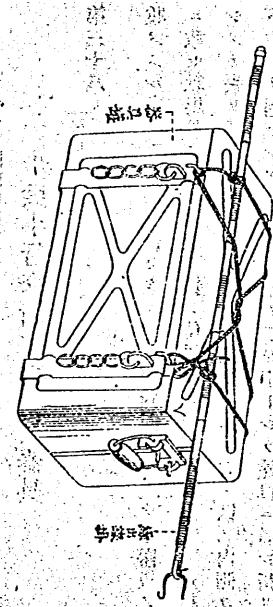
縲出線掛

收入品ヲ收メタル器具罐ニ蓋ヲ爲シ其上ニ縲出線掛ヲ鎖ヲ後方ニシ内側ニ寄セテ載セ長荷造網一ヲ取り其蛇口ヲ罐ノ内方側ニ在ル前部ノ鉤ニ掛け網ヲ以テ縲出線掛ヲ二回繰ヒ内方側ニ向ヒテ縒メタル後張リタル網ニ掛け外方側ニ在ル前部ノ鉤ニ導キテ斜ノ網ニ一回纏ヒテ蛇口ノ所ニ持チ來タシ荷造網ニ掛けテ引解一回捲キ次ニ斜ニ内方側ニ在ル後部ノ鉤ニ導キ爾後前ト同要領ニテ縲出線掛ヲ纏ヒ外方側ニ在ル後部ノ鉤ニ掛け既ニ掛けタル斜ノ網ニ一回纏ヒテ蛇口ノ所ニ持チ來タシ荷造網ニ掛けテ引解

0380

ニ結フ(第五圖)

五
國側内荷左
包捲、掛線出線及繩具器



梶包

十九

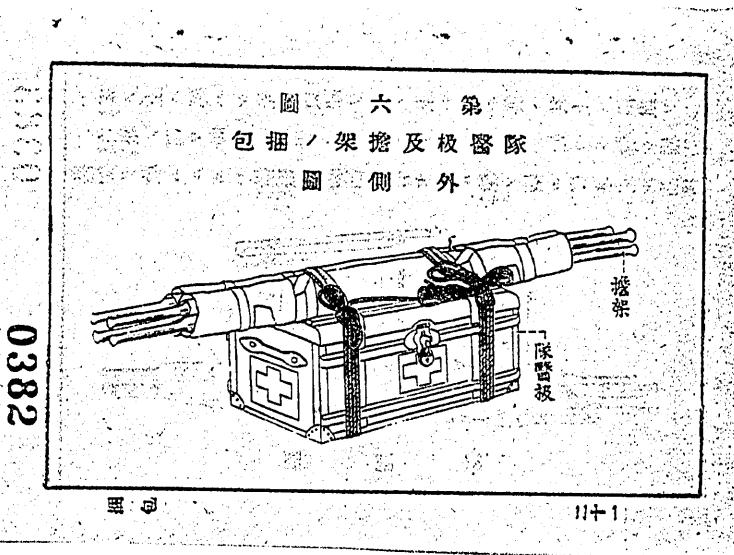
歩兵小行李衛生材料及器具

第三十八

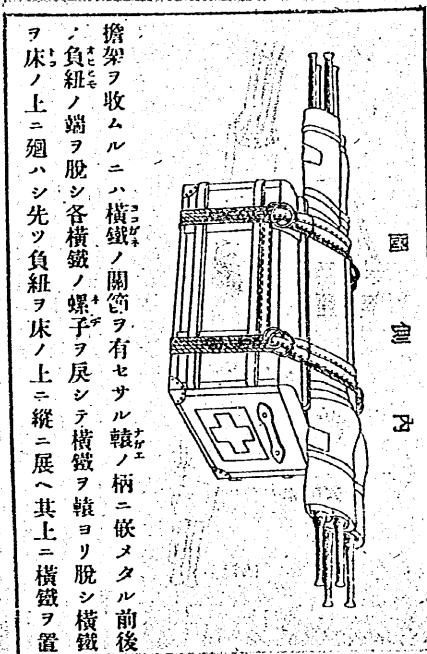
隊醫板

擔架

收メタル擔架二ヲ捲キ合セタル部ヲ相對向セシメテ隊醫板ノ上ニ載セ駄馬具ノ縄網ヲ取り鎮ノ位置ヲ正シ繫革ヲ兩鎮ニ近接セシメテ張リ然ル後兩鎮ヲ隊醫板ノ内側上角ニ當テ網ヲ内側ヲ經下方ヨリ廻ハシテ反對側ニ致シ二ツ折トシラ蛇口ニ通シ折リ返シテ銀ノ所ニ持チ來タシ其上ヨリ掛ケテ縄網ノ端ヲ引キ縛フ更ニ一周經ヒタル後蛇口ノ所ニ致シ折リ返シタル網ニ掛ケテ引解ニ結フ(第六圖)



0380



擔架ヲ收ムルニハ横鐵ノ關節ヲ有セサル轍ノ柄ニ嵌メタル前後
ノ負紐ノ端ヲ脱シ各横鐵ノ螺子ヲ戻シテ横鐵ヲ轍ヨリ脱シ横鐵
ヲ床ノ上ニ廻ハシ先ツ負紐ヲ床ノ上ニ縱ニ展ヘ其上ニ横鐵ヲ置

細包

國會

二十二

キ横鐵ノ關節ヲ有スル轆ノ方ヨリ負紐及横鐵ト共ニ床ヲ損セサ
ル如ク捲キ帶紐ヲ繩ヒテ美錠ニテ止ム

第三十九 器具罐

鶴嘴

七號袋

一
六入

五

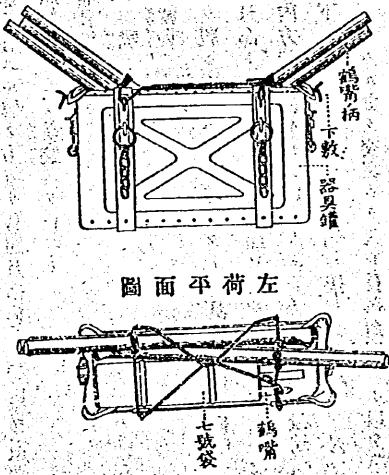
先ツ鶴嘴ノ柄ヲ脱シ次ニ下敷ヲ裝シタル器具罐ノ中ニ鶴嘴ノ鐵
部五ヲ尖部ト刃部トヲ交互ニシ其側面ヲ接シテ竝ヘ其上ニ七號
袋ヲ罐ノ後部内方側ニ接ゼンメロヲ上ニシテ置キ然ル後鶴嘴ノ
柄ヲ其頭部ヲ下ニシニ七號袋ノ外側ニ接シテ前方ニ、次ニ三
ヲ後方に位置セシムル如ク交叉シテ入レ長荷造綱一ヲ以テ第三

招包

二十三

0385

第
七
包捆ノ袋號七及鶴嘴
圖面側側內荷左



捆
包

二十四

9380

十七ノ網徑ニ依リ前後ノ柄ヲ内方側ニ引き付ケル如ク纏ヒ結フ。

(第七圖)

工兵小行李器材

第四十

器具罐
下數
共

鶴嘴

二號袋

六寸
手速六
寸四入

三

一

六

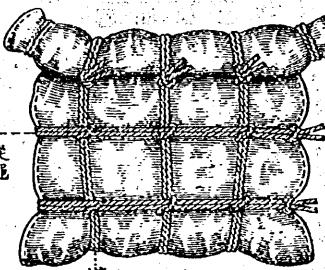
先ツ鶴嘴ノ柄ヲ脱シ次ニ下敷ヲ装シタル器具罐ノ中ニ鶴嘴ノ鐵
部三ヲ横向ニシテ並ヘ其側ニ二號袋ヲ置キ然ル後鶴嘴ノ柄三ヲ
其頭部ヲ下ニシ罐ノ内方側ニ接シテ前方ニ、次ニ圓匙六ヲ其鐵

烟包

一十五

0387

第八圖
包 叼



二十六

包

二十六

部ヲ下ニシ後方ニ位置
セシムル如ク交叉シテ
入レ長荷造綱一ヲ以テ

前條ニ準シ捆包ス

大行李物品

第四十一 叼ヲ捆包ス

横幅 ルニハ先ツ收入品ノ安

定ヲ求メ口ヲ堅ク捲キ

込ミ耳縄ヲ繩ヒ其餘端

ヲ互ニ結ヒ口ヲ捲キ込

0388

ミタル中ニ收メ概不箱ノ捆包ニ準シ形態ヲ整ヘツツ繩ヲ掛け結
ラ(第八圖)

耳繩ヲ繩フニハ叭ノ口ヲ捲キ込ミタル後耳ノ形ヲ整ヘ耳繩ノ端

ヲ内ニシ根ノ方ノ繩ヲ以テ耳ヲ二、三回堅ク捲キ端ヲ引キ繩ム

ルモノトス

第四十二

飯 條。標。
米 錬。鐵。平。
包 釜。金。共。中。
布 揚。四。一。
括 ト。四。一。
ト。五。一。
ト。五。一。
ト。五。一。

捆包

二十七

0389

捆包

三十八

飯
斗
覆
ト十六折

二

棕梠網ノ上ニ鍊鐵平釜ヲ置キ其中ニ中釜ヲ入レ中釜ニ米揚笊其

他ノ收入品ヲ前記ノ順序ニ入レ蓋ヲ爲シ棕梠網ヲ覆ヒ網ノ口ヲ
縫緒ニテ捺リ結フ若網ノ口弛キトキハ縫緒ヲ適當ノ網目ニ掛け
捺ルモノトス

棕
梠
網

一

第四十三
ニツ組米洗桶

一

三ツ組湯桶
蓋共

一

棕梠網ノ上ニニツ組米洗桶ヲ置キ其中ニ三ツ組湯桶ノ蓋三ヲ竝

0390

糊包

三十九

へ次ニ湯桶ヲ倒ニシ最後ノ湯桶ノ底部ヲ概ネ米洗桶ノ口ノ所ニ
在ラシムル如ク重ネ前條ニ準シ棕梠網ヲ覆ヒ結フ

第四十四

棕梠網

一

鐵籠

一

棕梠網ノ上ニ鐵籠ヲ重ネ捕ヘテ置キ連接裝置ヲ保護スル如ク正
シク棕梠網ヲ覆ヒ結フ

大子
杓子
大子

雜器
袋臺

一
一
一
一

0391

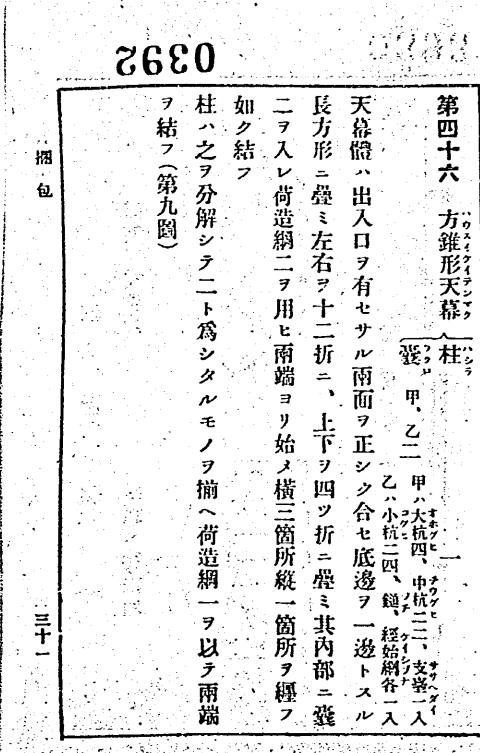
第四十五

烟包

三十

薪	大柄杓	一
新	柄杓	一
鎌	柄杓	一
庖	庖丁三、鎌刀二、小刀子四入	一
提	提包	一
丁	庖丁三、鎌刀二、小刀子四入	一
包	袋共	一
灯	燈	一
棕櫚	棕櫚	一
タワシ	タワシ	一
衛生隊	衛生隊	一
小行李	小行李	一
物品	物品	一

雜器袋ニ等臺其他ノ收入品ヲ入レ鐵網杓子、大杓子及大柄杓ハ
其柄ヲ袋ノ口ノ方ニ在ラシメ縛緒ヲ以テ結フ

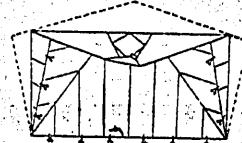
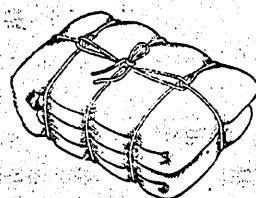


四十一

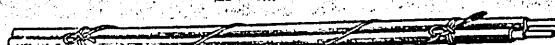
圖九 第

包捆體幕天

方折ノ體幕天



包捆ノ柱



0393

4394

電信隊器材

第四十七 電柱

一三

兩端ヲ揃ヘ圓形ニ整ヘ柱帽ヲ裝シ其兩締綱ヲ一直線ニ張リ電柱ノ中央部ニテ交叉シ尚一回捻リテ十字ニ取り電柱ヲ數周纏ヒ十

字ニ取リタル部ニ就キ結フ(第十七圖參照)

第四十八 繩柱

八

前條ニ準シテ捆包ス

第四十九 折梯子

二

疊ミタル折梯子二ヲ互ニ反對ノ方向ニ重ネ短荷造網四ヲ用ヒ兩端各ニ二箇所ニ就キ結フ(第十九圖參照)

架橋縦列器材

第五十 橋礎杭

各杭ヲ頭部ト鎧部トヲ交互ニシ銀ヲ下ニシテ竝ヘ長荷造綱二ヲ用ヒ銀ニ通シ杭ヲ纏メテ兩端ヲ束ネ結フ。

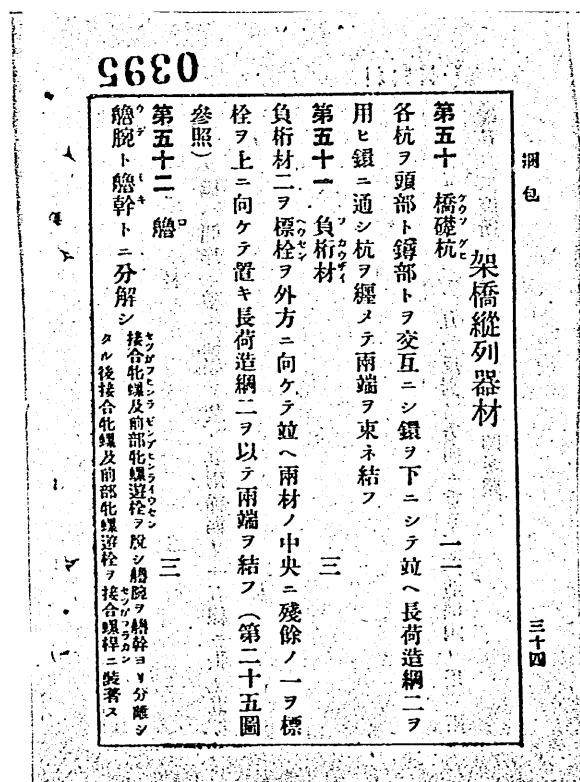
第五十一 負桁材

負桁材一ヲ標柱ヲ外方ニ向ケラ竝ヘ兩材ノ中央ニ残餘ノ一ヲ標栓ヲ上ニ向ケラ置キ長荷造綱一ヲ以テ兩端ヲ結フ（第二十五圖參照）

第五十二 艇

艇脱ト船幹トニ分解シ接合化螺及前部化螺選松ヲ脱シ船幹ヨリ分離シタル後接合化螺及前部化螺選松ヲ接合螺擇ニ装着ス

9680



9930

先ツ船幹三ヲ重ね長荷造綱二ヲ以テ兩端ヲ結ヒ其上ニ船腕三ヲ
船幹ノ保存ヲ害セサルヲ度トシ重心ヲ船幹ノ中央ニ近シカシム
ル如ク載セ長荷造綱ニヲ以テ船幹ト共ニ二箇所ニ就キ結フ(第
二十五圖参照)

船幹三ヲ重ヌルニハ其ニヲ接合螺桿ヲ上ニ向ケ密接シテ竝ヘ其
中央ニ残餘ノ一ヲ接合螺桿ヲ下ニ向ケテ置キ後部ハ成ルヘク之
ヲ重疊スル如ク爲スモノトス

第五十三 柄 三若ハ四

柄三ヲ捆包スルニハ其ニヲ密接シテ竝ヘ残餘ノ一ヲ其中央ニ
キ長荷造綱ニヲ以テ兩端ヲ結フ

三十五

捆包

柵四ヲ捆包スルニハ其ニヲ密接シテ竝ヘ他ノニヲ同要領ニ依リ
其上ニ置キ前項ニ準シテ結フ
第五十四 板
平ニ重木長荷造綱ニヲ以テ兩端ヲ結フ(第二十八圖参照)
七

第二章 駄載

要則

第五十五 駄載作業ノ要ハ馬背ニ對スル積載品ノ平衡ト安定ト
ヲ良好ナラシムルニ在リ之カ爲馬背ノ兩側ニ成ルヘク同種同量
ノモノヲ積ミ其長側ノ中央部ヲ駄鞍ノ中央部ニ一致セシムル如

0397

8390

ク、重心中央部ニ在ラサルモノハ鞍トノ接著ノ關係ヲ順
感シ成ルヘク重心部ヲ駄轡ノ中央部ニ一致セシム。前後ノ位置ヲ定メ又
鞍トノ接著ヲ害セザル限り低ク積ミ以テ左右ノ平衡ト安定トヲ
得シメ且其前部ヲ少シ高クシ行進時ノ動搖ヲ防クヘシ
長キ兵器物品ニ在リテハ積載後駄鞍トノ接著ヲ害セザルヲ度ト
シ荷造綱ヲ以テ其前端ヲ結ヒ合スモノトス
第五十六 敷箇ノ兵器物品ヲ一馬ニ積載スルヲ要ストキハ豫
メ之ヲ右荷及左荷ト爲ス如ク捆包シテ積ミ中荷ハ成ルヘク之ヲ
避クルヲ要ス
中荷ヲ積ムヲ要スルトキハ通常附載品ヲ除キ中荷ヲ正シク駄鞍
ノ上ニ載セ成ルヘク其高サヲ低クスヘシ而シテ除キタル附載品

6390

ハ中荷積載後適宜ノ箇所ニ之ヲ附載スルモノトス
第五十七両側ノ積載品ニ重量ノ差異アルトキハ重キ方ハ輕キ
方ヨリ稍其位置ヲ高クシ或ハ輕キ方ニ附載品等ヲ載セ平衡ヲ
得シムル如ク積ムヘシ
第五十八兵器物品ヲ積載スルニハ鎖アルモノハ之ヲ駄鞍ノ懸
鏈鉤ニ掛ケ鎖ナキモノハ先ツ縄網ヲ以テ捆包シ其鏈ヲ用ヒテ積
載スルモノトス場合ニ依リ直ニ縄網ヲ以テ積載スルコトアリ
第五十九駄馬ノ積載量ハ附載品^{諸物}袋^{馬匹}手入具^{馬具}雨蓑^{馬具}水^{馬具}蓑^{馬具}ヲ除キ二十五貫タツ以テ基準トス
第六十積載卸下ハ通常四人一組ニテ之ヲ行フモノトス

- 第六十一 積載卸下ノ間ニ於ケル兵卒ノ歩度ハ駆歩トシ要スレ
ハ速歩ヲ用フルコードアリ
- 第六十二 卸下ハ概ネ積載ト反対ノ順序ニ行フモノトス
駆載一般ノ方法
- 第六十三 積載前豫メ第二十四ニ準シテ積載スヘキ兵器物品ヲ
整置シ駄馬ヲ其後方ニ之ニ面シテ位置セシムルモノトス
- 第六十四 五十四人二組ニテ積載ヲ行フニハ兵卒ヲ駄馬ノ右側ニ位
置セシメタル後積ム用意ノ號令ヲ下ス此號令ニテ兵卒ハ兵器
物品ノ後方二歩ノ所ニ到リ之ニ面シテ二列ニ集ル
- 次ニ番號ヲ附シ「積メ」ノ號令ヲ下ス此號令ニテ兵卒ハ作業ヲ始

0401

メ作業終レハ「積ム用意」ノ位置ニ復ス
次ニ「解レ」ノ號令ヲ下ス此號令ニテ兵卒ハ駄馬ノ右側ニ復ス
卸下ヲ行フニハ「卸ス用意」「卸セ」ノ號令ヲ下スモノトス
作業間一番ハ右荷、二番ハ左荷ヲ擔當ス而シテ兵器物品ヲ運ブ
トキハ前列ノ者ハ前端ニ、後列ノ者ハ後端ニ就クモノトス

第六十五 駄馬ヲ保持スル兵卒ハ「積ム用意」又ハ「卸ス用意」ノ
號令ニテ馬ノ前ニ出テ之ヲ保持シ「解レ」ノ號令ニテ定位ニ復
スルモノトス但積載ニ在リテハ定位ニ復スルニ先チ馬裝及積載
ヲ檢シ要スレハ之ヲ修正スルモノトス

第六十六 積載卸下ノ爲小銃弾薬箱及器具罐ヲ運フニハ二人ノ

兵卒其兩短側ニ分レ各、片手ニ提把ヲ持テ勉メテ歩ノ調子ヲ揃
ヘ併進ス又隊醫級_共擔架ヲ運フニハ二人ノ兵卒前後ニ分シ積載ノ
關係ヲ顧慮シテ擔架ヲ同一方側ノ肩ニ擔ヒ歩ノ調子ヲ揃ヘ重疊
シテ行進スルモノトス

第六十七 兵器物品ヲ駄鞍ニ著クルニハ鎖アル方ヲ之ニ對セシ
メ其方側ノ手ニテ鎖ヲ、他ノ手ニテ兵器物品ノ底部ヲ持チ激突
セシメサルト正シク積載ノ位置ヲ保タシムルトニ注意シ左右兩
側ノ兵卒互ニ連繫ヲ保チ同時ニ行フモノトス

第六十八 兵器物品ノ鎖ヲ駄鞍ノ懸鏈鉤ニ掛クルニハ鎖ノ捻レ
ナルコトニ注意シ前後ノ兵卒協力シテ先ソ前方ノモノヲ掛ケ次

ニ後方ノモノニ及ホスモノトス
縛箱革條ヲ締ムルニハ積載品ノ位置ヲ正シ最モ短キ線ヲ經ラ之
ヲ導クモノトス

0403

第六十九 附載品ハ鞍前豫メ之ヲ鞍ニ附載ス其法通常蹄鐵
囊、豫備控綱、馬糧囊、麥袋_{馬匹手入}雨覆ノ順序ヲ以テ鞍ノ上ニ
重ネ縛囊革條二ヲ用ヒテ之ヲ縛定シ其上ニ水囊ヲ伏セ紐ニ殘餘
ノ縛囊革條ヲ通シテ縛定ス _{三式機重鞍房ニ在リ}
第七十 雨覆ヲ用フルトキハ雨水ヲ布面ニ溜ラシメサル如ク緊
張シ且風ノ爲ニ蘇フサル如ク確實ニ之ヲ繩ヲ要ス

各種兵器物品ノ駄載

歩兵通信器材

第七十二 器具罐
及蓋共

二二 (三捆)
線出線掛

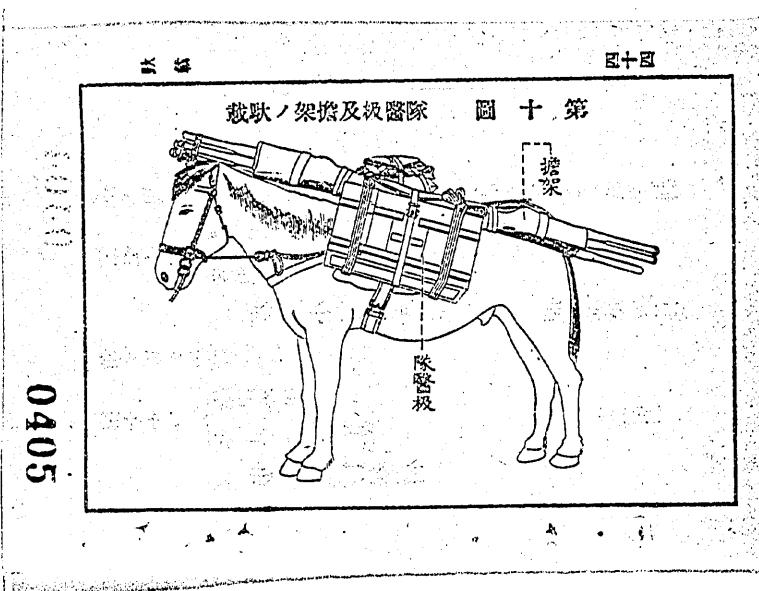
第七十二 鎖ヲ以テ積載ス

歩兵小行李衛生材料、弾薬及器具

第七十二 隊醫板
擔架

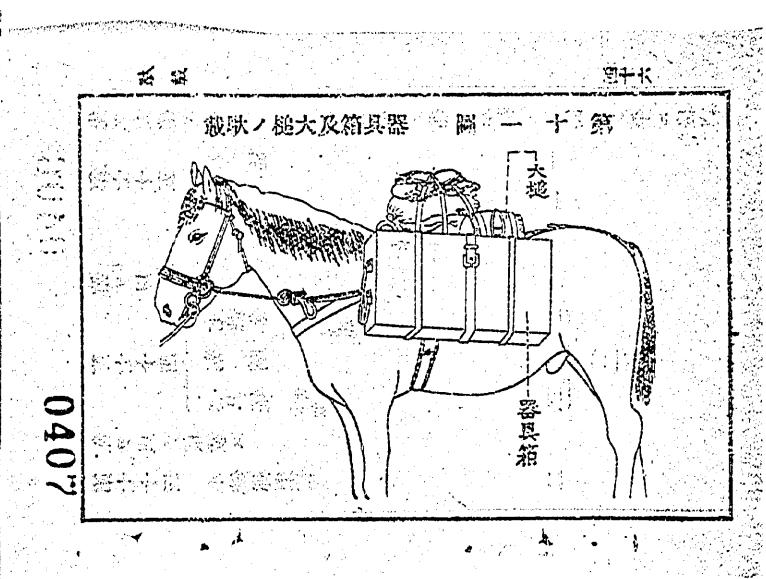
二二 (二捆)

第七十二 鏈ヲ以テ積載シ荷造綱ヲ以テ沿架ノ前端ヲ結束ス(第十圖)



0406

第七十三	小銃弾薬箱	二
第七十四	器具罐	二
第七十五	七號袋	二
第七十六	鶴嘴	一
第七十七	鉄六入袋	一
第七十八	器具箱	一
第七十九	大槌	一
第八十	大槌	一
第八十一	先ツ大槌ヲ取り長荷造網一ヲ以テ槌ノ頭部ヲ左側ニシ平ニ後弯	一
第八十二	四十五	一
第八十三	狀載	一



鐵ノ内側ニ結著シタル後鎖ヲ以テ器具箱ヲ積載ス(第十一圖)

第三章 車載

要則

第七十六 車載作業ノ要ハ車輪ニ對スル積載品ノ安定ヲ良好ニシ其重量ノ配當ヲ適切ナラシムルニ在リ之カ爲車輪ニ對シ平行若ハ直角ト爲シ成ルヘク低ク之ヲ積ミ積載品相互及積載品ト車臺トノ接著ヲ勉メテ自然ニシ以テ其安定ヲ得シメ又左右兩車輪ノ受クル重量ヲ均一ニシ且車臺ノ前方ヲ稍重カラシムルヲ要ス

0409

長キ兵器物品ハ通常其前端ヲ轄木ノ外方に出タシ車臺上ニ斜ニ
積ムモノトス

第七十七 輛重車ノ積載量ハ附載品

ヲ除キ五十貫タゞ以テ基準トス

已ムヲ得ス一時積載量ヲ増加スル場合ト雖平易ナル地形ニ於テ
七十五貫タゞ超ユヘカラス

第七十八 轆木端ノ重量

トキ約四貫タゞ以テ標準トス

此標準ハ兵卒ヲシテ積載品ノ位置

ニ依リ漸次判知シ得ルニ至ラシムルヲ要ス

第七十九 積載ハ通常二人一組ニテ行ヒ先ツ兵器物品ヲ運ヒテ

車臺上ニ整置シ然ル後荷網ヲ掛クルモノトス但架橋綫列器材中
鐵舟ハ通常六人、冠材、板及大簾籠等ハ各、二人以上ニテ運フ
モノトス

第八十 積載卸下ノ間ニ於ケル兵卒ノ步度ハ第六十一ニ依ルモノトス

第八十一 卸下ハ概ネ積載ト反對ノ順序ニ行フモノトス

第八十二 教育ノ初期又ハ教育上特ニ必要アルトキハ駕駕スルコトナク車載ヲ行フコトアリ

車載一般ノ方法

第八十三 積載スヘキ兵器物品ノ整置、鞍馬及兵卒ノ位置、號

令並諸動作ハ第六十三乃至第六十五ニ準ス但荷綱及附載品ハ積
載前豫ノ車臺ノ後端下ニ之ヲ卸スモノトス

第八十四 一人ニテ積載品ヲ運フニハ通常之ヲ肩ニ擔フモノト
ス

第八十五 二人ニテ積載品ヲ運フニハ第六十六ニ從フ但手ニテ
運フ積載品ニシテ提把ナキモノハ両手ヲ以テ底部ヲ持ツモノト
ス

第八十六 重キ積載品ヲ肩ニ擔フニハ助手ヲ用フルヲ可トスル
コトアリ

第八十七 四人以上ニテ積載品ヲ運フニハ兵卒ハ半數ツツ積載

品ノ兩側ニ分レ概ネ身長ノ順序ニ位置シテ動作スル外第六十六
隊醫級ノ運方ニ準シテ行フモノトス

第八十八 四人以上ニテ積載品ヲ運フトキハ各兵卒ノ動作ヲ一
致セシムル爲右側後端ノ兵卒ハ肩ニ擔ヒ若ハ卸ストキハ「擔ヘ」
「卸セ」又前進、停止ニハ「前ヘ」「止レ」ト唱フルモノトス

第八十九 積載品ヲ車臺上ニ置クニハ通常其前部ヨリ後部ニ及
ホシ激突又ハ摩擦セナルト正シク積載ノ位置ニ置クコトトニ注
意シテ行フモノトス

第九十 積載品ニ荷綱ヲ掛クルニハ最モ短キ綱徑ヲ取り成ルヘ
ク各積載品ニ綱ノ掛カル如クスルヲ要ス

0413

第九十一 積載品ニ荷網ヲ掛け締ムルニハ概ね梱包ニ於ケル荷造網又ハ繩ヲ締ムル要領ニ從ヒ特ニ兩側ノ兵卒同時に締ムル場合ニ在リテハ氣勢ヲ揃ヘテ行フヲ要ス又締メタル荷網ヲ荷網掛けクルニハ其基脚ニ密接セシメ且通常之ヲ順ニ導クモノトコトアリ

積載品ニ荷網ヲ掛け締ムルニ方リ要スレハ脚ヲ車輪ニ掛け行フ

第九十二 締メタル荷網ヲ結フニハ網ノ兩端ヲ取リテ相交叉シ一端ヲ折リ返シテ既ニ纏ヒタル網ノ下ニ通シ之ヲ締メ次ニ折リ返シタル網ノ端ヲ交叉點ノ内ニ在ラシメ然ル後折リ返シタル網

0414

第十二圖
荷網ノ結方



ヲ他ノ網ノ端ト結フ(第十二圖)
荷網ノ繼方ハ第三十五荷造網ノ繼
方ニ同シ
第九十三 荷網ヲ掛クルニハ積載
品ノ種類ニ依リ其方法ヲ異ニスト
雖概ネ左ノ二法ヲ適用シテ行アモ
ノトス
一、右(左)方ノ兵卒ハ荷網一條ヲ
取リ其蛇口ヲ前ノ右(左)荷網掛鉤
ニ掛け積載品ヲ越エテ網ヲ後方ニ

0415

取リ後ノ右(左)荷網掛鉤ノ内側ヨリ車臺ノ下ヲ經テ右(左)第四
荷網掛鉤ニ導キ積載品ヲ越ニシメ左(右)方ノ兵卒ノ荷網ト取り
換ハシ再ヒ右(左)第四荷網掛鉤ニ掛ク次ニ縦ニ取りタル左(右)
荷網ニ掛け右(左)第一荷網掛鉤ニ導キ積載品ヲ越エシメ左(右)
方ノ兵卒ノ荷網を取り換ハシ再ヒ右(左)第一荷網掛鉤ニ掛け積
載品ノ上ニ於テ結ヒ餘端ハ之ヲ束ネテ掛けタル網ニ挿ム(第十
三圖参照)

積載品ノ種類ニ依リ後ノ右(左)荷網掛鉤ノ内側ヨリ車臺ノ下ヲ
經テ右(左)第五荷網掛鉤ニ導キ積載品ヲ越エテ左右ノ荷網ヲ取
リ換ハシ右(左)第四荷網掛鉤ニ掛け又縦ニ取りタル左(右)荷網

0416

三掛ケタル後右(左)第二荷網掛鉤ニ掛ケ左右ノ荷網ヲ取り換ハシ右(左)第一荷網掛鉤ニ掛ケ更ニ積載品ノ前方ニテ取り換ハシ
綫ノ網ニ就キ結フコトアリ
二、右(左)方ノ兵卒ハ荷網一條ヲ取り其蛇口ヲ積載品ト縦木ト
ノ間ヨリ右(左)第一荷網掛鉤ニ掛ケ網ヲ外方ニ導キ支材ノ下方
ヲ經積載品ト轄木トノ間ヨリ出タシテ積載品ヲ搬ヒ右(左)第一
荷網掛鉤ニ掛ケ外方ヨリ斜ニ積載品ヲ越エテ内方ニ導キ右(左)
第三荷網掛鉤ニ掛ク次ニ内方ヨリ斜ニ積載品ヲ越エテ外方ニ導
キ縦木ノ内方ヨリ網ヲ折リ返シテ右(左)第五荷網掛鉤ノ所ニ出
タシ同鉤ニ掛ク次ニ積載品ヲ越エテ網ヲ導キ後ノ右(左)荷網掛

0417

鉤ニ掛ケテ積載品ヲ一周繩ヒ然ル後左(右)方ノ兵卒ノ荷網ト取り換ハシ右(左)第五荷網掛鉤ニ掛ケ再ヒ荷網ヲ取り換ハシ積載品ノ上ニテ十字ニ交叉シ既ニ掛ケタル横ノ網ニ依リ後ノ中央荷網掛鉤ニ掛ケ締メ結フ(第二十八圖參照)
積載品ノ種類ニ依リ右(左)第一荷網掛鉤ヨリ積載品ヲ越エ斜ニ内方ニ導キタル荷網ヲ右(左)第二若ハ第三荷網掛鉤ニ掛ケ車臺ノ中央部ニ在ル積載品ヲ越エテ左右ノ荷網ヲ取り換ハシ適宜ノ荷網掛鉤ニ掛ケ再ヒ荷網ヲ取り換ハシ右(左)第三若ハ第四荷網掛鉤ニ掛ケタル後積載品ヲ越エ斜ニ外方ニ導キ右(左)第五荷網掛鉤ニ掛ケルコトアリ

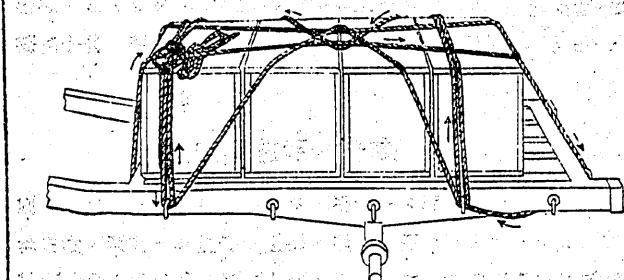
第九十四 附載品ハ第六十九ニ準シテ重ネ積載品重量ノ配當ト
其積載ノ状態トヲ顧慮シ適宜ノ箇所ニ附載スルモノトス

第九十五 雨覆ヲ用フルトキハ第七十二從フ

各種兵器物品ノ車載 箱

第九十六 箱四ヲ積載スルニハ之ヲ横ナ長側ヲ車輌ニ對シテ平行ニシテ
前後ニ並ヘ置ク (三六式及三八式ニ輪幅重車ニ在リテハ縱(昆側ヲ重軸ニ對
(第十三圖))

圖三十第一
載車ノ箱



0419

0420

大行李物品

第九十七

米

叭 (二斗)

六

四ヲ横ニシテ前後ニ竝ヘ其上ニ二ヲ横ニシテ置ク但各叭ヲ成ル

ヘク平ニ置クコトニ注意スルヲ要ス(第十四圖)

麥叭 (三斗) 五ヲ積載スルトキハ前項ニ準シ四ヲ前後ニ竝ヘ其上ニ

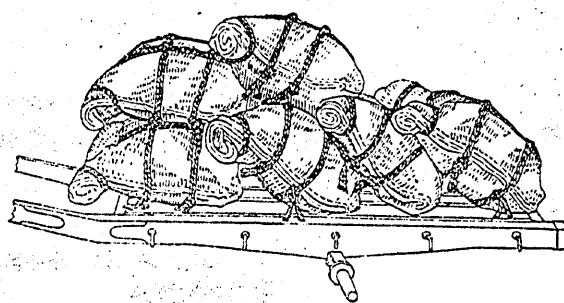
一ヲ置ク

車
械

五十九

六十

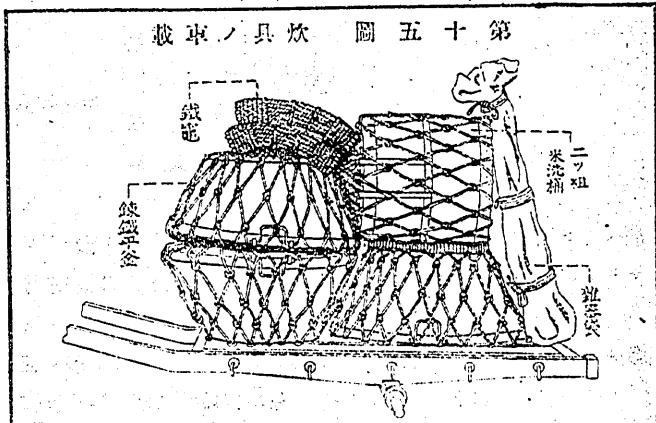
第十四圖
米ノ車載



0421

0422

第九十九		第八十	
鐵	鍊	鐵	平
二	鐵	金	釜
組	金	收	共
米	櫃	入	
洗	三		
桶	少		
	少		
	少		
器			
雜			
袋			



0423

0424

鍊鐵平釜二ヲ互ニ口ヲ合セテ重ネ車臺ノ前部ニ置キ其後方ニ他ノ一ヲ伏セ其上ニ二ツ組米洗桶ヲ縦ニシロヲ前ニ向ケテ置キ次ニ鐵竈二ヲ重ネ前部ニ在ル鍊鐵平釜ノ上ニ横ニシテ載セ然ル後雜器袋ヲ車臺ノ後部ニ立テ掛け
鍊鐵平釜ハ提把ヲ車臺ノ兩側ニ向クル如ク置クモノトス(第十
五圖)

電話隊器材
中線卷匡
中被覆線
炭化石灰箱
車共

一一卷

第百

六十三

車載

車載

六十四

中綴車臺ヲ装着シタル輜重車ニ前記ノ諸品ヲ之ニ相當スル區畫

内ニ入ル

電話器具箱

三(一捆)

第百一 線出線掛

一

折梯子

一

電話器具箱二ヲ縦ニシテ前後ニ置キ其上ニ一ヲ縦ニシテ載セ折
梯子及線出線掛ヲ車臺ノ左側ニ置ク

衛生隊小行李衛生材料

三

衛生隊醫械

一

第百二 隊醫械

一

0426

衛生隊醫板二及隊醫板一ヲ横ニシテ前後ニ竝ヘ其上ニ衛生隊醫板一ヲ横ニシテ置ク(三六式及三八式二輪輕重車ニ在リテハ衛生隊醫板三枚ニシテ前後ニ竝ヘ其上ニ隊醫板ヲ縦ニシテ置ク)

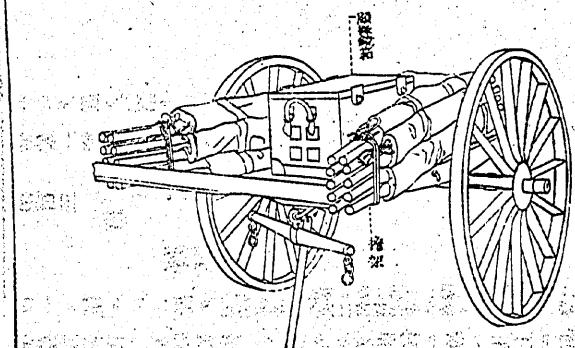
野戰病院衛生材料

第百三 捧顯微鏡箱

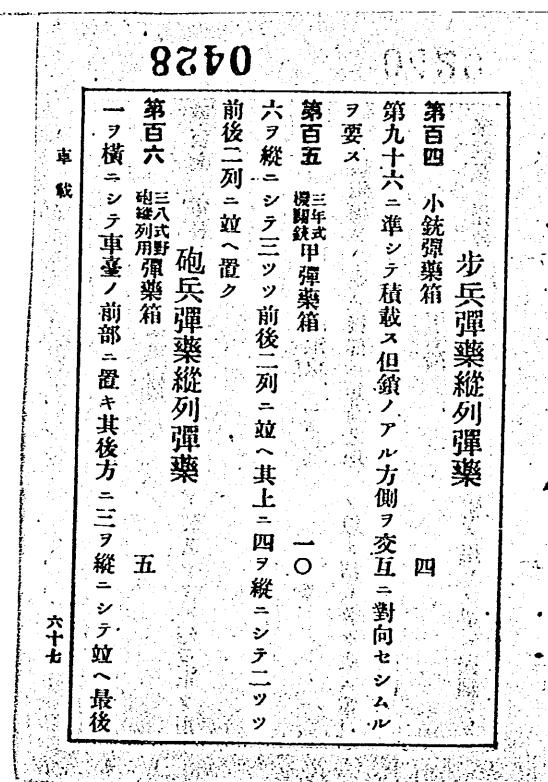
一〇(二捆)

擔架一捆ヲツラ車臺ノ兩側ニ斜ニシテ置キ其間ニ顯微鏡箱ヲ縦ニシテ置ク(第十六圖)

載車ノ箱鏡微顯及架擔 圖六十第



0427



ニーラ横ニシテ置ク、其處又ニミヤニ置ク。電信隊器材

電信隊器材

電柱及綫柱ノ積載ニハ電柱架ヲ裝著シタル轆重車ヲ用

第百七 電柱

五二(四捆)

十四番亞鉛鍍線

一五〇米

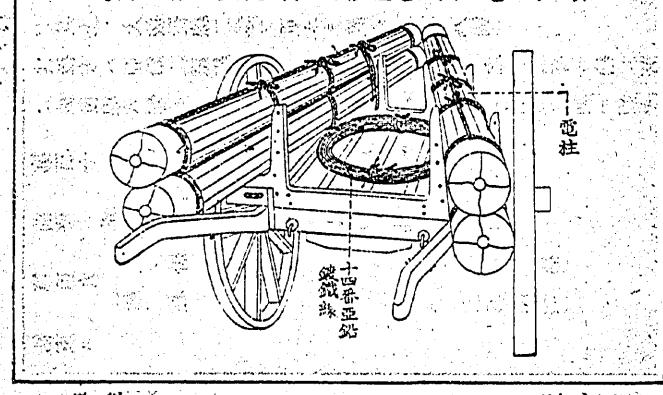
一卷

亞鉛鍍鐵線ヲ車臺ノ後部ニ短荷造網ニヲ以テ結ヒ著ケ次ニ電柱
架ニ電柱ヲ鑄ヲ前ニシテ左右各、二捆ツツヲ入レ電柱架附屬ノ
緊網ニテ結束ス(第十七圖)

架設又ハ撤收作業中ニ在リテハ通常荷網ヲ用ヒス單ニ緊網ニテ

0430

第十七圖 番四十及柱電鉛錫線ノ車載



六十九

結束ス

継柱線掛

三二(四捆)

六(二捆)

一〇卷

一卷

前條ニ準シ継柱ヲ載セ其上ニ線掛一捆ツツヲ置ク

大被覆線

袋共

一〇卷

第百十

十四番亞鉛鍍鐵線

一〇〇〇米

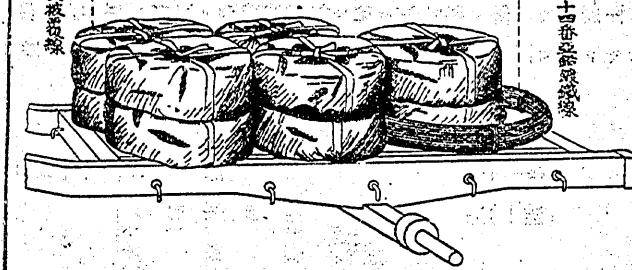
一卷

大被覆線八巻ハ二巻ツツ重不テ竝ヘタルモノヲ前後二列ニ置キ
其後方ニ亞鉛鍍鐵線ヲ置キ短荷造綱二ヲ以テ之ヲ車臺ニ結ヒ
ケ其上ニ大被覆線二巻ヲ重ネラ置ク(第十八圖)

0432

圖八十第一

載車ノ線鐵鍍鉛亞番四十及線覆被大



七十

第百十一

大
格
車
擔
棒

大
架
設
置
大
格
車
架
具

轉
把
大
架
設
置
大
格
車
架
具

轉
把
大
架
設
置
大
格
車
架
具

轉
把
大
架
設
置
大
格
車
架
具

轉
把
大
架
設
置
大
格
車
架
具

轉
把
大
架
設
置
大
格
車
架
具

轉
把
大
架
設
置
大
格
車
架
具

轉
把
大
架
設
置
大
格
車
架
具

轉
把
大
架
設
置
大
格
車
架
具

轉
把
大
架
設
置
大
格
車
架
具

轉
把
大
架
設
置
大
格
車
架
具

轉
把
大
架
設
置
大
格
車
架
具

轉
把
大
架
設
置
大
格
車
架
具

轉
把
大
架
設
置
大
格
車
架
具

轉
把
大
架
設
置
大
格
車
架
具

轉
把
大
架
設
置
大
格
車
架
具

轉
把
大
架
設
置
大
格
車
架
具

六(一捆)

四(二捆)

一卷

三〇〇米

一

小
籠

大
籠

大
籠

大
籠

大
籠

大
籠

大
籠

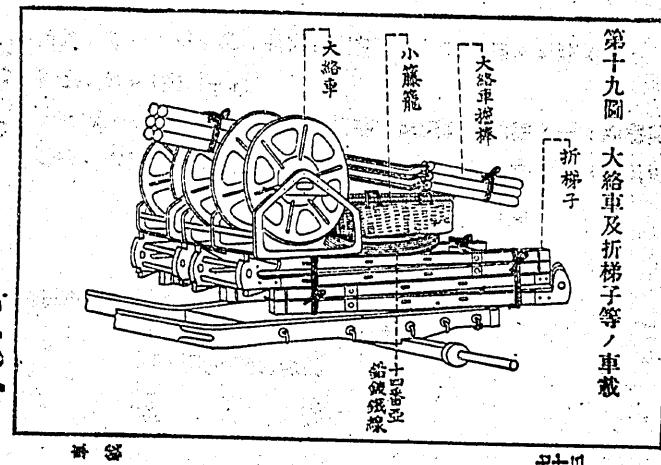
大
籠

大
籠

大
籠

折梯子二捆ヲ縱ニシテ竝ヘ其上ニテ前方ニ大絡車三ヲ縱ニシテ
竝ヘ大絡車ノ後方ニ亞鉛鍛鐵線ヲ置キ小籠籠ヲ縱ニシテ其上ニ
置ク大絡車擔棒六ハ之ヲ縱ニシテ車臺ノ中央ニ置キ其前端ヲ中
央ノ大絡車ニ托ス(第十九圖)

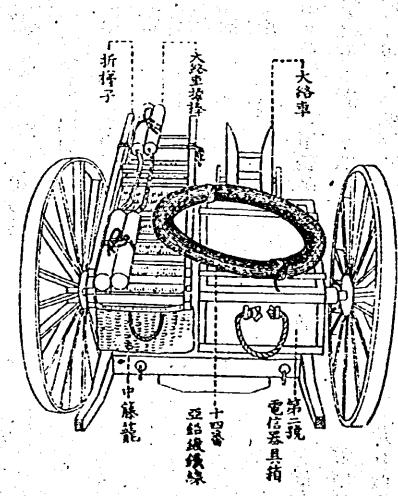
0434



中籠	第二號電信器具箱	大絡	大絡	大絡	中籠
籠架	一	車	車	車	籠
架設用、大	一	大絡	大絡	大絡	一
大絡車擔棒共	一	大絡	大絡	大絡	一
(二回捲)	一	大絡	大絡	大絡	一
梯子	一	大絡	大絡	大絡	一
折梯	一	大絡	大絡	大絡	一
十四番亞鉛鍍鐵線	一	大絡	大絡	大絡	一
五〇〇米	一	大絡	大絡	大絡	一
一卷	一	大絡	大絡	大絡	一
車臺ノ右側ニ中籠、左側ニ電信器具箱、大絡車ヲ前後ニ置キ	一	大絡	大絡	大絡	一
中籠ノ上ニ折梯子及大絡車擔棒ヲ又電信器具箱ノ上ニ亞鉛鍍	一	大絡	大絡	大絡	一
鐵線ヲ置ク(第二十圖)	一	大絡	大絡	大絡	一
荷網ヲ掛タルトキ特ニ大絡車擔棒ヲ一、二回捲クヲ要ス	一	大絡	大絡	大絡	一

0436

第十二圖
中籠及號二第及籠箱載車ノ具器信電

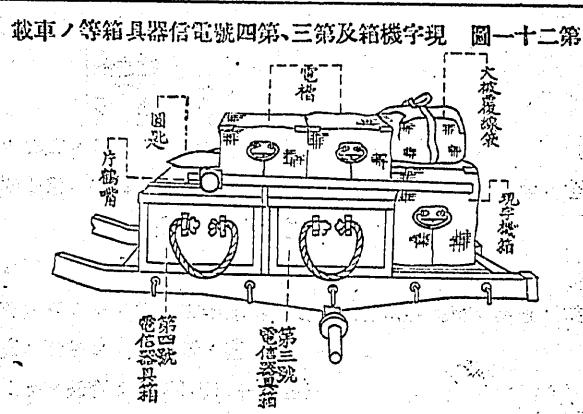


七十五

現字機箱		覆共
第三號電信器具箱	一	一
第四號電信器具箱	一	一
電被覆線袋	一	一
電被覆線袋	一	一
片鶴嘴	一	一
片鶴嘴	一	一

電信器具箱ヲ前方ヨリ第四號、第三號ノ順序ニ横ニシテ置キ其後方ニ現字機箱ヲ横ニシテ置キ次ニ電信器具箱ノ上ニ電被覆線袋二ヲ横ニシテ置キ現字機箱ノ上ニ大被覆線袋ヲ載セ圓匙及片鶴嘴ヲ

0438



0440

箱ヲ前方ヨリ三號、一號、二號ノ順序ニ横ニシテ置キ堅腕ヲ縱ニシテ其上ニ横タヘ漢切鎌ハ車臺ノ左側ニ長荷造綱一ヲ以テ結ヒ著ク(第二十二圖)

二號箱

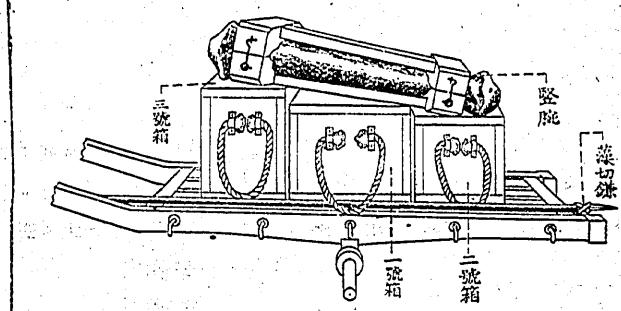
三號箱

一

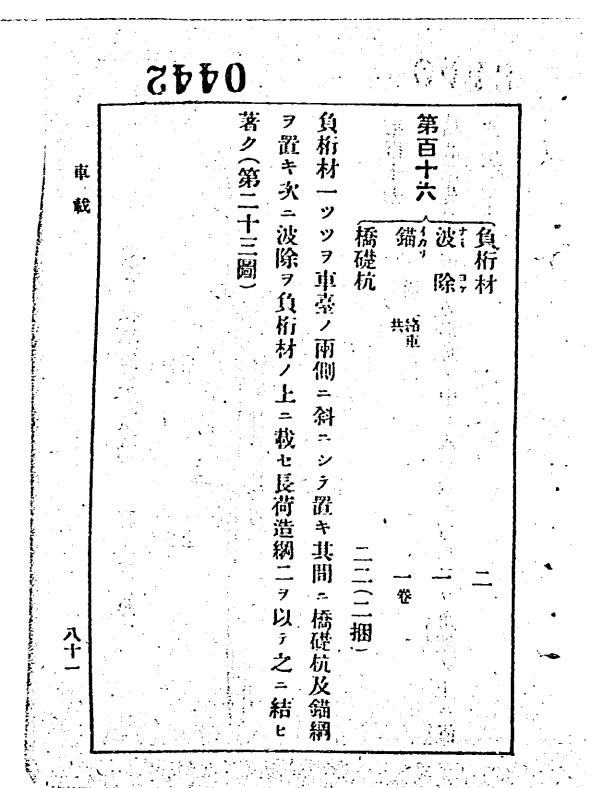
車載

七十九

圖二十二 第
載車ノ等鎌切藻及腕堅



0441



0443

車
載

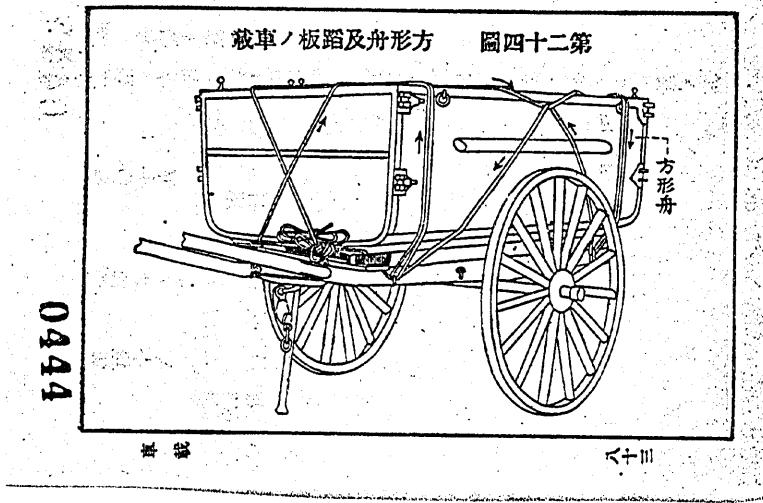
載車ノ等除波及材積負 図三十二第

八十二



第一百七
方舟
踏板

積載前先づ踏板ヲ方舟ノ中ニ入レ次ニ方舟ヲ船架ノ上ニ置
ク(第二十四圖)



車載

八十四

第一百十八

尖形舟
踏板

屏斗

尖形舟ノ尖部ヲ後方ニシテ前條ニ準シテ積載ス

一
二

三(一捆)

三(一捆)

三(一捆)

第一百十九

負桁材

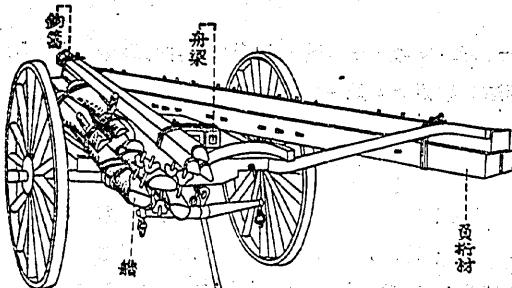
鈎竿

鈎竿
船梁
負桁材
鈎竿
船梁
其ニ斜ニシテ置キ其
間ニ舟梁ヲ置ク
車臺ノ右側ニ鈎及
左側ニ負桁材ヲ共ニ斜ニシテ置キ其

0445

0446

圖五十二 第
載車ノ等總及材折負



八十九

機械

0447

車載

八十六

鉤篋ハ其鉤ノ尖端ヲ下ニ向ハシムルヲ要ス(第二十五圖)

二(一組)

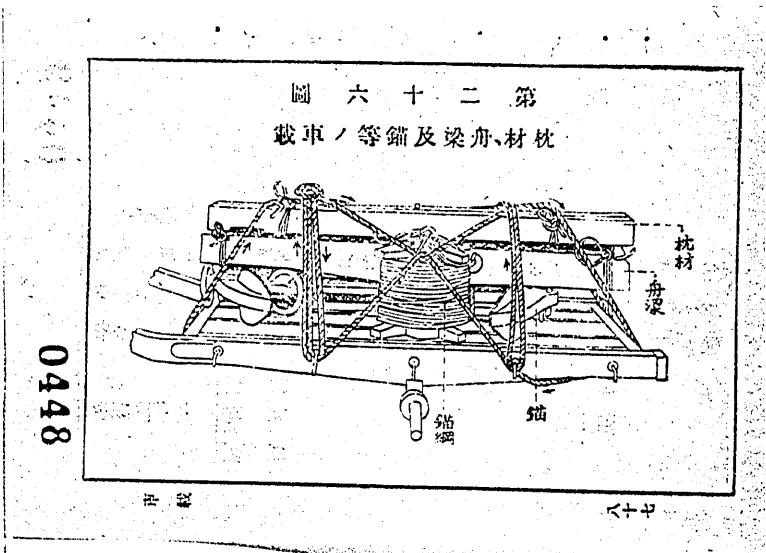
三(一組)

第一百二十
錨・舟・梁

錨
網
共格車

二

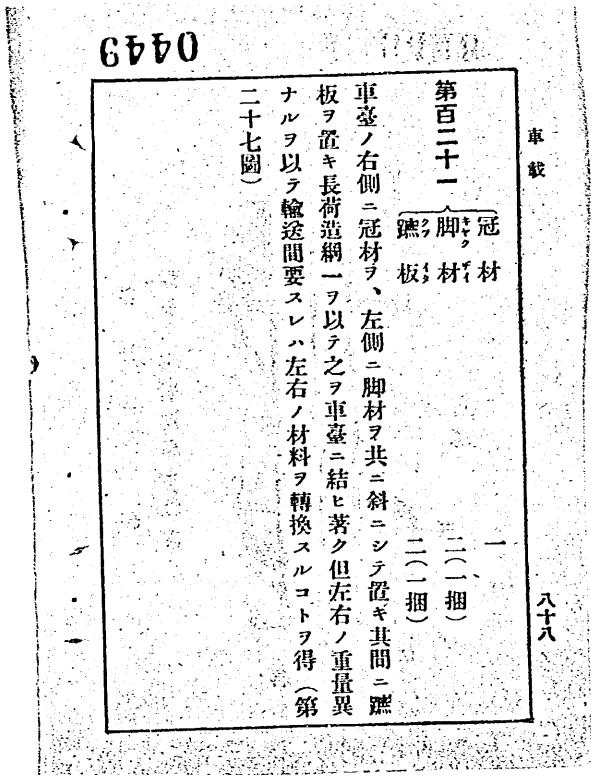
錨二ヲ反對ニ向ケ車臺ノ中央ニ縦ニシテ置キ其兩側ニ錨網一卷
ツツヲ置キ次ニ舟梁、枕材ノ順序ニ錨ノ上ニ置ク(第二十六圖)

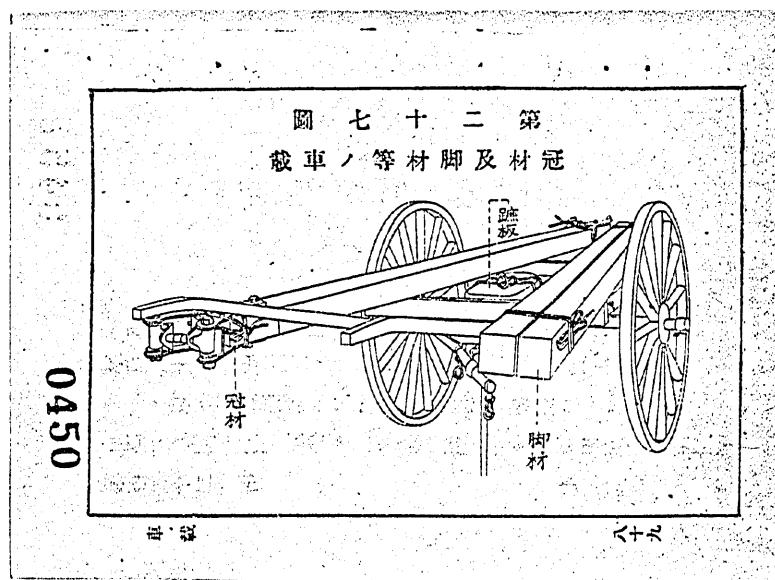


第一百二十一 冠
脚 材

一
二(一捆)
二(一捆)

車臺ノ右側ニ冠材ヲ、左側ニ脚材ヲ共ニ斜ニシテ置ギ其間ニ躰
板ヲ置キ長荷造網一ヲ以テ之ヲ車臺ニ結ヒ若ク但左右ノ重量異
ナルヲ以テ輸送間要スレハ左右ノ材料ヲ轉換スルコトヲ得(第
二十七圖)





第一百二十二 柄

七(二捆)

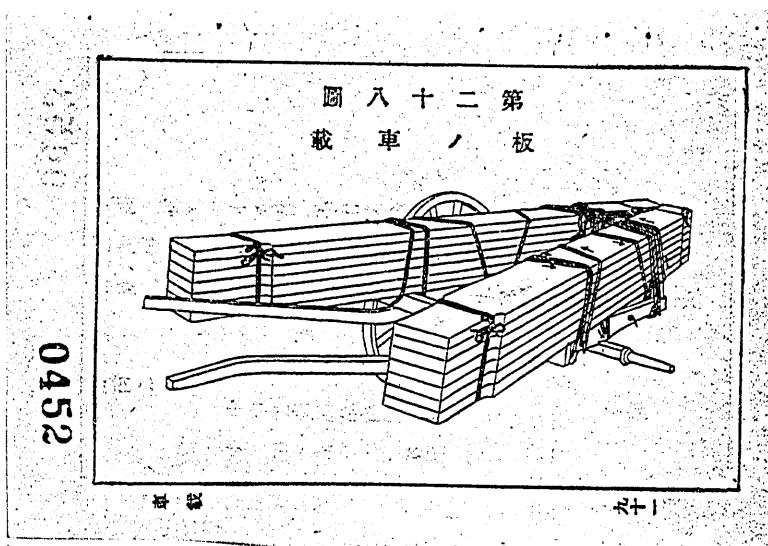
九寸

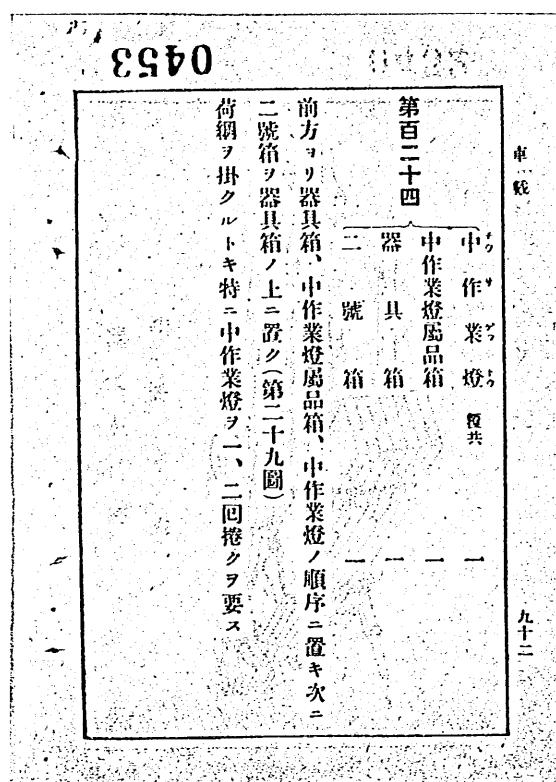
車臺ノ右側ニ四、左側ニ三ヲ共ニ斜ニシテ置ク但左右ノ重量異
ナルヲ以テ輸送間要スレハ左右ノ材料ヲ轉換スルコトヲ得

第一百二十三 板

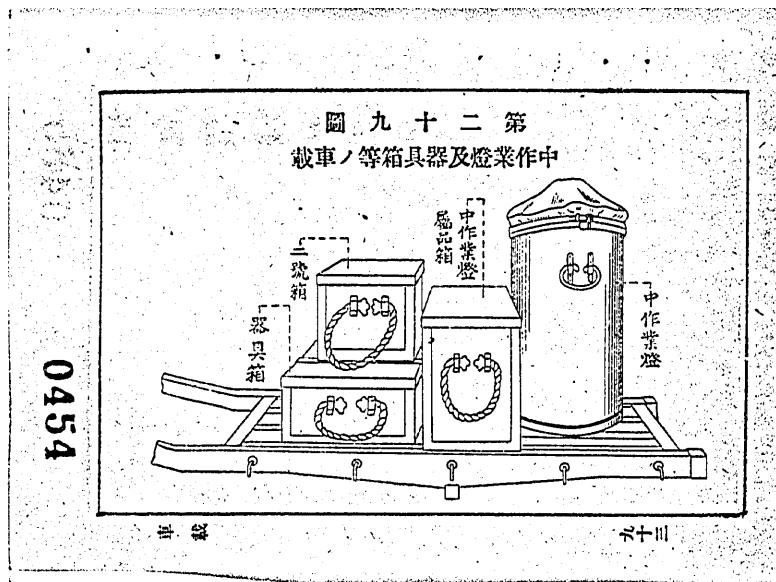
一四(二捆)

一捆ツツヲ車臺ノ兩側ニ斜ニシテ置ク(第二十八圖)





四五六



0455

捆包積載教範終

九十四

捆包積載教範附錄

第一章 駄馬具及輶馬具ノ裝脱並積載

卸下ノ爲駄馬、輶馬ノ保持

駄馬具ノ裝脱

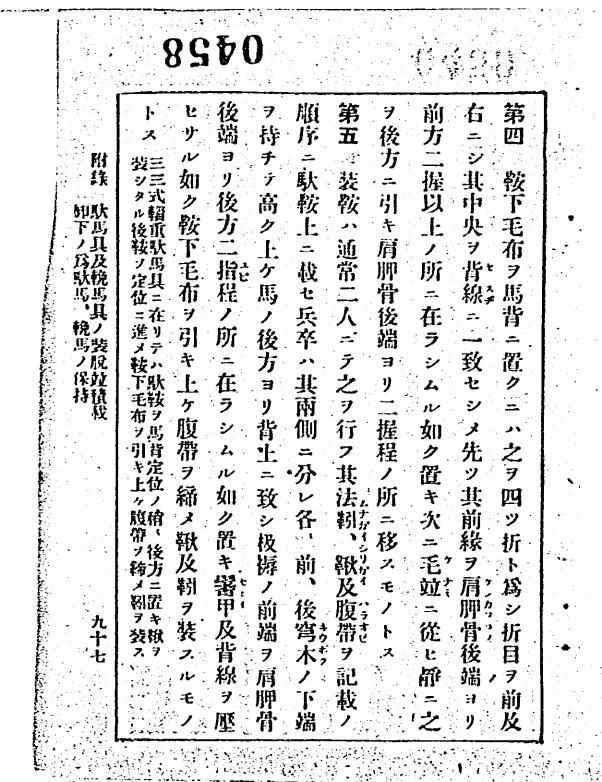
第一 馬ニ駄馬具ヲ装スルニハ良ク馬體ニ適合シ且各部ノ装著ヲシテ嚴ニ其適度ヲ保タシメサルヘカラス否サレハ啻ニ駄載ノ確實ヲ害スルノミナラス延イテ馬ヲ損傷スルニ至ルモノトス
第二 駄馬具ハ豫メ馬ニ適合セシメ常ニ同一ノ馬ニ装スル如ク

附錄 駄馬具及輶馬具ノ装脱並積載
卸下ノ爲駄馬、輶馬ノ保持

スルヲ要ス而シテ一タヒ適合セシメタル駄馬具ト雖之ヲ装スル

三方リテハ必ス其狀態ニ注意ヲ拂フヲ要ス。

第三 駄鞍ヲ馬ニ適合セシムルニハ先ツ輕ク板擣ノ裏面ヲ叩打シテ其硬直ヲ緩和シタル後鞍下毛布ヲ用フルコトナク鞍ヲ輕ク馬背ニ置キ板擣肩接ノ景況ヲ觀察シ所要ニ應シテ穹鐵ノ開度ヲ規正シ尚板擣ノ肩接ヲ良好ナラシムル如ク板心ノ配置ヲ修正スルモノトス良ク適合セラレタル鞍ハ廣キ板面ヲ以テ馬背ニ肩接シ板擣留鐵附近ニ於テ板擣ノ裏面ト肋骨トノ間ニ平手ヲ插入シ得ルヲ度トシ局壓ノ箇所ナク前部ハ後部ヨリ稍高キ位置ニ在ルモノトス



0459

腹帶ヲ装スルニハ毛並ヲ整ヘ長腹帶ヲ正シク滑溜ニ導キ短腹帶ニ装著ス。三式軽重鞍馬具ニ在リテハ右帶ノ革ノ左帶ノ革ニ外方ヨリ通シニ掛ケ。二回兩帶復ノ間ニ便ヒタル後左帶ノ革所ニテ外側ノ締革ニ引解根ノ方ヨリ捲キ末端ノ頭ニ通シ折り返ス。其適度ハ帶徑トノ間ニ平手ヲ三式軽重鞍馬具ニ入レ得ヘク又兩腹帶ノ方形鎖在リテ、兩帶ノ綴合在リテハ二指ヲ拉ヘテ概ネ二握程ノ餘裕ヲ存セシムルモノトス。間隔ハ積載前ニ於テ概ネ二握程ノ餘裕ヲ存セシムルモノトス。鞚ヲ装スルニハ尾毛ヲ纏ヒ尾根ト共ニ持チ上ケテ之ニ通ス。其適度ハ尾根トノ間ニ概ネ三握程ノ餘裕ヲ存セシムルモノトス。鞚ヲ装スルニハ正シク之ヲ胸前ニ當テ左ノ鞚托鎖ニ装著ス。其適度ハ胸前トノ間ニ一拳ヲ入ルル餘裕ヲ存セシムルモノトス。第六　鞍馬勒ヲ装スルニハ兵卒ハ左手ニ勒ヲ取り牽綱及控綱ヲ

左臂ニ掛け馬ノ頭ノ左側ニ到リ右手ノ食指ト中指トヲ右口角ニ入レテ之ヲ保チ左手ニテ裝著シアル頭絡ヲ脱シ駄馬勒ヲ銜ミ換ヘ銜ハ軽ク口角ニ接セシメ咽紐ハ咽喉トノ間ニ一拳ヲ入ルル餘裕ヲ存セシメ引解ニ結フ次ニ控網ヲ左右ノ牽托銀ニ在リテハ控網ノ繩ニ通シ通常緊張セサルヲ度トシ引解ニ結フ

第七 級囊革條及縛組革條ヲ用ヒサルトキハ各其兩脚銀ノ間ニ繩ヒ其端ヲ遊環革ニ通シ止ムモノトス

第八 縮綱ヲ有スル駄鞍ニシテ之ヲ使用セサルトキハ附載品シテ携行スルモノトス三式輕重駄具ニ在リテハ縮綱ノ端口ヲ駄鞍力木ノ端ニ掛け前後ノ綱ヲ交叉シ綱ノ方ニ向ク繩革ク發同長ノ三條ニ描ヘ前後ノモノヲ合シ鞍ニ近ク引解ニリ通シテ引き輪メ更ニ一向ニ束不環トナリタル部分ヲ二通シテ御駄馬具及駄馬具ノ袋尻及積載ノ爲駄馬具ノ袋尻及積載

附錄
九十九

附錄
如上ノ爲駄馬、挽馬ノ裝脫及載
百

- 力木ノ端ニ掛ケテ引き締メ餘柄ヲ
轉メテ東下タル部ノ内方ニ挿ム
第九 小綱ヲ用ヒサルトキハ之ヲ適宜ノ環ニ經メテ東下後方左
穹鐵ノ剝割部(三式) 鎧重駄馬具ニ
在リテハ左根緊鐵ニニ装著スルモノトス
第十 駄馬具ヲ馬ヨリ脱スルニハ概ネ之ヲ装スルトキト反對ノ
順序ニ行フモノトス
駄馬具ノ装脱
第十一 駄馬具ノ装脱ニ就キテハ以下示スモノノ外駄馬具ノ装
脱ニ準スルモノトス
第十二 鞍下毛布ハ之ヲ六ツ折存ヲ顧慮シ適宜定ムトト爲シテ用フル
モノトス

第十三

装鞍ハ一人ニテ之ヲ行フ其法頭上革及緩喉革、轄索右左

轄索ノ挽鉤東索サニテ東ネ轄索ノ引革端革、轄及袴革、轄木受金控

ニテ控ヘ右轄索ノ挽鉤ヲ緩喉革ノ右鍊鎖ニ掛ク

革、腹帶ヲ記載ノ順序ニ轄鞍ノ上ニ載セ前、後穹木ノ頂部ヲ持

チ馬ノ左側ヨリ背上ニ置キ腹帶ヲ締メ轄木受金控革ヲ控ヘ轄及

袴革ヲ裝シ緩喉革ヲ著ケ其左鍊鎖ニ左轄索ノ挽鉤ヲ掛タルモノ

トス

袴革ヲ裝スルニハ轄ノ裝法ニ準シテ行フ而シテ其適度ハ左右均

等ニ垂下シタルトキ其下端後膝ノ直上ニ在リテ水平ヲ保ツヲ要

ス

頭上革及緩喉革ヲ裝スルニハ先ツ、鞍甲部ノ毛竜ヲ整ヘ正シク頸

ス

附錄
駄馬具及挽馬具、鞍成並織裁
印下ノ爲駄馬、挽馬ノ保持

出錄

御下ノ爲駄馬、鞍馬ノ保持

百二

上革ヲ娶シ次ニ緩喉革ノ左端ヲ馬ノ左側ニ致シ頸上革ニ裝著スルモノトス而シテ顎上革ハ適當ニ輓鞍ニ近接シ緩喉革ハ概ネ水平ニシテ其下端肩端ノ上部ニ在ルヲ度トス

積載卸下ノ爲駄馬、鞍馬ノ保持

第十四 積載卸下ノ爲駄馬又ハ鞍馬ヲ保持スルニハ兵卒ハ馬ノ前ニ出テ之ニ面シ約半歩足ヲ踏ミ開キ右手ハ牽綱又ハ韁ヲ放チ両手ノ拇指ト食指ノ第二關節トヲ以テ銜ノ鐵ヲ撮ム又一人ニテ數馬ヲ保持スルニハ馬列ニ面シ上記ノ姿勢ヲ取り適宜両手ニ牽綱又ハ韁ヲ分チテ保チ要スレハ一手ノ牽綱又ハ韁ヲ他ノ手ニ移シ馬ヲ制スルモノトス

第二章 部隊捆包

第十五 兵卒各個ノ捆包作業ニ習熟スルニ至レハ分隊ヲ以テス
ル作業ヲ行ヒ以テ分隊長ノ號令ニ從ヒ整正確實ニ作業ヲ實施シ
得シメ且分隊長ヲシテ其指揮法ヲ練磨セシムルヲ要ス

第十六 分隊ヲ以テ作業ヲ行フニハ左ノ方法ニ依ルモノトス
捆包スヘキ兵器物品及捆包材料ハ通常三歩ノ間隔
兵器物品ノ中心ヨリ後端ヨリ後端ニ其後端ヲ揃ヘテ二線ニ排列ス
分隊ハ兵器物品線ノ中央後ニ二列ニ集合ス分隊長ハ各兵卒又ハ
各組ノ擔當區分其他必要ノ件ヲ指示ス

次ニ「捆包用意」ノ號令ヲ下ス此號令ニテ兵卒ハ駆歩ヲ以テ示サ
レタル兵器物品ノ所ニ到リ定位ニ就ク
次ニ「始メ」ノ號令ヲ下ス此號令ニテ兵卒ハ作業ヲ始メ作業終レ
ハ「捆包用意」ノ定位ニ復ス
分隊長ハ兵器物品ノ種類等ノ關係ヲ顧慮シ要スレハ作業ヲ終リ
タル兵卒ヲ指命シテ他ノ兵卒ノ作業ヲ援助セシムルモノトス
第十七 分隊捆包ニ習熟スルニ至レハ數分隊ヲ合シテ作業ヲ行
ヒ以テ各分隊ノ協同動作ヲ演練シ指揮官ヲシテ統一指揮ノ要領
ヲ會得セシムルヲ要ス

第三章 車載品ヲ駄載スル爲ノ捆包及駄載

捆包

第十八 本教育ニ在リテハ公用(將校)行李、鍊鐵平釜、電柱、
鐵舟及板ヲ以テ教育上基礎トナルヘキ兵器物品ト爲スモノトス
但演習材料ノ關係ニ依リ要スレハ他ノ類似ノ兵器物品ヲ用フル
コトヲ得

大行李物品

第十九 公用(將校)行李

附錄 車載品ヲ駄載スル爲ノ捆包及駄載

先ツ二ヲ重ネ本教範第三十八ニ準シ縄網ヲ以テ梱包シ其上ニ残 餘ノ一ヲ重ネ縄網ノ餘端ヲ外側ヨリ上方ヲ經テ内側ニ致シ縄網 ノ環ノ直上ニ於テ前ノ行李ニ縄ヒタル網ニ掛け之ヲ返シテ外側 ニ致シ前ノ行李ニ縄ヒタル網ニ掛け結フ
第二十
棕櫚網
鍊鐵平釜
米
揚笊
飯包布
飯斗
四ツ折 ト爲ス 括ト爲ス
二五〇
五

雨覆ト十六折爲ス

本教範第四十二ニ依リ細包シタル後縄網ヲ取り其兩銀ヲ鍊鐵平
簽ノ縁ニ當テ兩網ヲ平行セシメテ蓋ノ方ヨリ底ノ方ニ廻ハシ底
ノ中央ニテ交叉セシメ各々蛇口ニ通シ之ヲ返シテ底ノ中央ニ持
チ來タシ網ノ交叉點ニ掛ケ左右ニ分チテ蓋ノ方ニ廻ハシ既ニ繩
ヒタル二條ノ縦ノ網ノ中遠キ方ノモノニ折リ返シテ掛ケ兩網ヲ
結ヒ餘端ヲ鍵ノ第一銀ニ通ス

衛生隊小行李物品

第二十一 方錐形天幕

柱

天幕體

附錄 車載品ヲ駆載スル爲ノ細包及駆載

百七

附録 車載品ヲ駆載スル爲ノ捆包及駆載

百八

(囊甲、乙二ハ甲ハ大杭四、中杭二二、支盤一入
乙ハ小杭二十四、鏈檣始綱、荷造綱各一入)

天幕體及囊ハ本教範第四十六ニ準シテ捆包ス但上下ノ折方ハ兩端ヨリ四分一ツツ折リ返シテニツ折ノ長サト爲ス如クシ又囊ヲ

天幕體ノ輕キ端ノ折目内ニ在ラシムルヲ異ナリトス

柱ハ分解シテ揃ヘ荷造綱ノ中央部ヲ以テ尖端ヨリ約四分一ノ長

サノ所ヲ結フ

步兵彈薬縱列彈薬

第二十二三年式甲
機関銃甲彈藥箱

ニヲ重ネ木教範第三十八ニ準シ締綱ヲ以テ捆包シタル後餘端ヲ

鏈ノ第一鎖ニ通シ中央ニテ結フ

0470

電信隊器材

第二十三 電柱

一三

本教範第四十七ニ依リ捆包シ次ニ本教範第三十八ニ準シ鏃ヲ後
方ト爲ス如ク縄網ヲ以テ捆包シタル後餘端ヲ鏃ノ第一環ニ通ス
第二十四 大被覆線（袋共）
二卷ヲ重ネ短荷造網一ヲ以テ結束シタル後附錄第二十二準シ縄
網ヲ以テ捆包ス

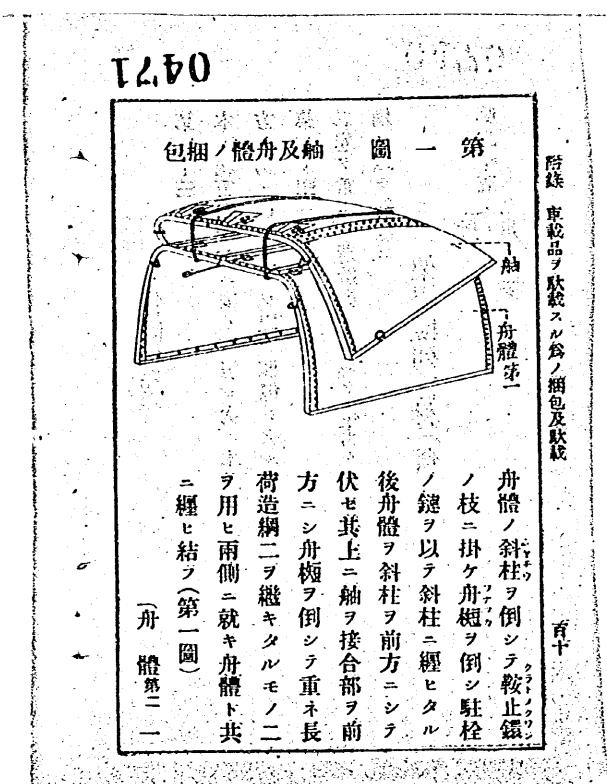
架橋縱列器材（舊式）

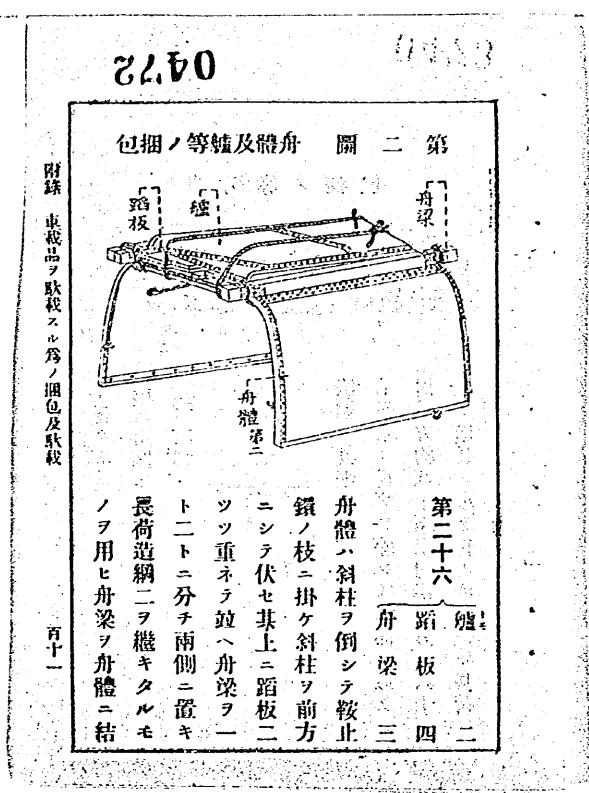
第二十五 舟體第一

舳

附錄 車載品ヲ駆載スル爲ノ捆包及駆載

百九





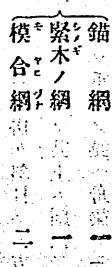
第三圖 鎖綱等の捆包

（第二圖）



ヒ著ク次ニ船ニヲ載セ長荷造綱ニヲ
用ヒ兩側ニ就キ舟體ト共ニ纏ヒ結フ

第二十七



鎖綱ハ其中央ヨリ兩端ニ向ヒ各、四
十珊米ノ長サヲ餘シ各半部ヲ以テ外
周長方約八十珊米内空長方約六十珊
米ノ横長ノ環ヲ作ル如ク捲キ長荷造

0474

網一ツツヲ用ヒ各環ノ兩端ニ就キ結ヒ然ル後兩環ノ上ニ緊木ノ
網及模合網ヲ分チテ置キ長荷造網一ツツヲ用ヒ各環ヲ二箇所ニ
就キ結フ(第三圖)

本教範第五十四ニ依リ捆包シタル後本教範第三十八ニ準シ綿網
ヲ以テ捆包ス

第二十九 負桁材

第二十八 板

積載ノ關係ヲ顧慮シ負桁材ノ外側トナビヘキ方側ニ錨ヲ鎮ノ部
ヲ前ニシテ置キ長荷造網二ヲ以テ前後二箇所ニ就キ結ヒ本教範

附註 車載品ヲ駁載スル爲ノ捆包及駁載

百十三

附錄 車載品ノ底袋スル爲ノ捆包及駁載

百十四

第三十八 準シ縄綱ヲ以テ捆包ス
鎖ハ銓ヲ脱シ横鐵ヲ錨幹ニ沿ハシメ長荷造綱ヲ以テ結束スル
モノトス

第三十九 緊木 緊 綱

八

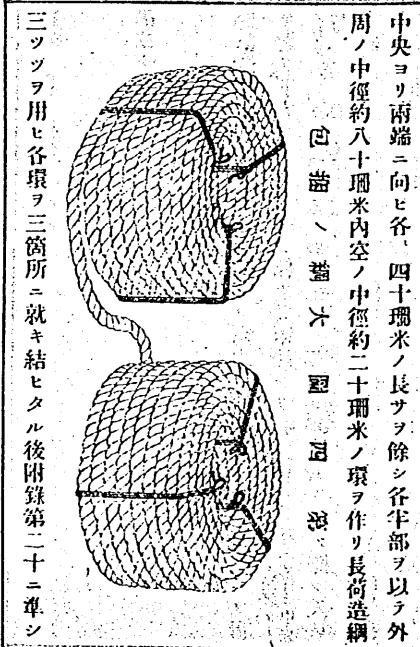
緊木ノ綱
緊木ヲ揃ヘ其綱ヲ繰メテ輕ク結ヒ結目ヲ緊木ノ上ニ在ラシム次
ニ緊綱ヲ揃ヘ四ツ折ト爲シ緊木ノ上ニ置キ長荷造綱一ヲ以テ緊
木ト共ニ結フ

第四十 大網

一

0475

0476



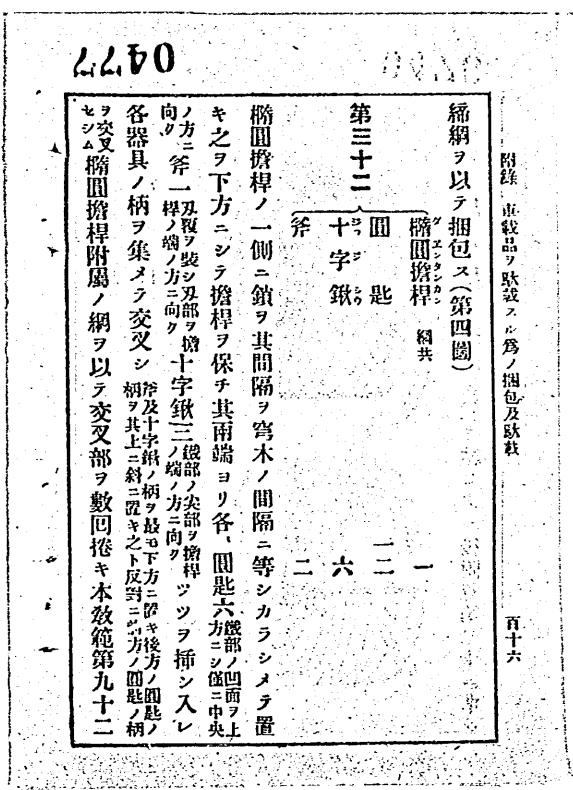
中央ヨリ兩端ニ向ヒ各四十珊瑚ノ長サ餘シ各半部ヲ以テ外
周ノ中徑約八十珊瑚米内空ノ中徑約二十珊瑚米ノ環ヲ作り長荷造綱

(2) 齧
鑄
外
圓

三ツツラ用ヒ各環ヲ三箇所ニ就キ結ヒタル後附錄第一十二準シ

附錄 車載品ヲ就載スル爲シ梱包及裝載

百十五



0478

第五回 圖匙及數字等ノ括包



附錄 車載品ヲ駆載スル爲ノ捆包及取載

百十七

附錄 車載品ヲ駄載スル爲ノ捆包及駄載

百十八

斧二二換フルニ大槌一ヲ以テスルトキハ擔桿ニ十字鉢ヲ挿シ入
レタル後大槌ヲ中央ニ挿シ入ルモノトス

駄載

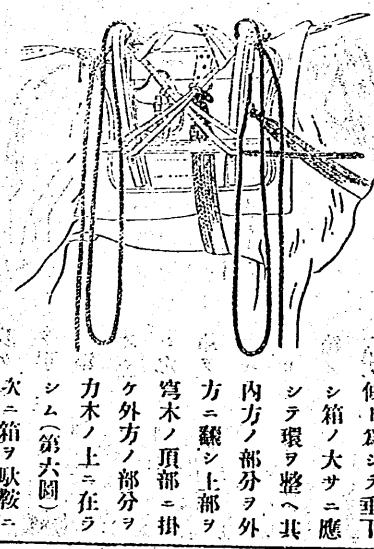
第三十三 本教育ニ在リテハ箱、吼、電柱、鐵舟及板ヲ以テ教
育上基礎トナルヘキ兵器物品ト爲スモノトス但演習材料ノ關係
ニ依リ要スレハ他ノ類似ノ兵器物品ヲ用フルコトヲ得
本教育ニ在リテハ三三式輪重駄馬具ヲ用フルモノトス五年式輪
重駄馬具ヲ用フルトキハ之ニ準ス

箱

第三十四 箱二ヲ積載スルニハ駄鞍ニ裝著シアル綿網ヲ各、三

0480

第六圖
繩備ノ準備



シテ環ヲ整ヘ其
シ箱ノ大サニ應

條ト爲シテ垂下

内方ノ部分ヲ外
方ニ翻シ上部ヲ

寫木ノ頂部ニ掛
ケ外方ノ部分ヲ

力木ノ上ニ在ラ
シム(第六圖)

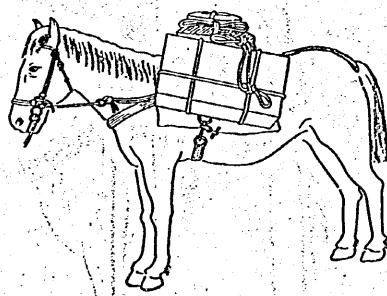
次ニ箱ヲ駄鞍ニ

附錄 車載品ヲ駄鞍スル爲ノ捆包及駄鞍

百十九

0481

第
七
圖
載
駄
ノ
箱



著ケ締綱ノ環ヲ掛け
テ引き締メ前後ノ綱
ヲ箱ノ内側ニ於テ力
木ニ掛けテ取り換ハ
シ之ヲ外側ニ致シテ
箱ヲ纏ヒ後部ニ掛け
(第七圖)

附錄 車載品ヲ駄載スル爲ノ梱包及駄載

百二十

大行李物品

第三十五 叱

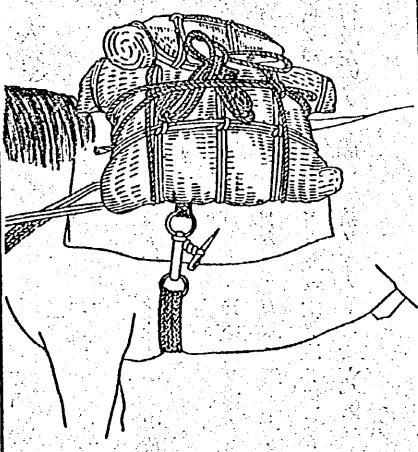
前條ニ準シテ積載メ

呴三ヲ積載スルニハニヲ右荷及左荷ト爲シ残餘ノ一ヲ中荷ト爲ス

中荷ヲ積載スルニハ左右兩荷ヲ積載シクル後中荷ヲ横ニシテ載セ前後ノ綱網餘端ヲ右荷及左荷ノ下方ヨリ力木ノ端ニ掛けテ上方ニ出クシ中荷ヲ越エテ左右兩側ヨリ斜ニ之ヲ取り換ハシ鉤ニ掛けタル後右荷及左荷ノ上部ニテ結フモノトス（第八圖）

0483

圖 八 第
戴 駄 ノ 叱



附錄 車載品ヲ駄載スル爲ノ捆包及駄載

百二十二

0484

第三十六 公用(將校)行李

鍵ヲ以テ積載ス

六(二捆)

鍵収入

第三十七 鍛鐵平釜

鐵 瓠

二

鍛鐵平釜二ヲ鍵ヲ以テ積載シ次ニ鐵竈二ヲ重ネ附錄第三十五ニ
準シ中荷トシテ積載ス

衛生隊小行李物品

第三十八 方錐形天幕

一(二捆)

鞍ニ裝著シアル繩網ヲ三條ト爲シラ垂下シ其端ヲ引キテ各
之ヲ一條ト爲シ置キ(第九圖)先ツ柱ヲ尖端ヲ前方ニシテ兩側ニ

附錄 車載品ヲ秋載スル爲ノ捆包及秋載

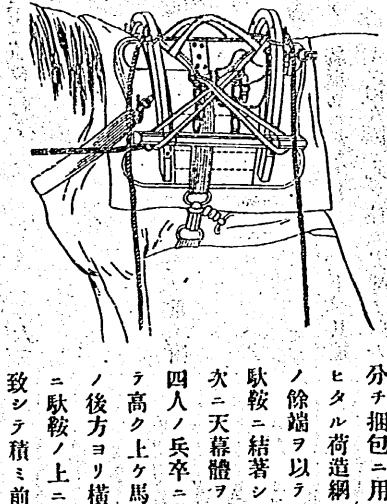
百二十三

圖九 第

備子準ノ綱締

附錄 車載品ヲ駄載スル爲ノ捆包及駄載

百二十四

分チ捆包ニ用
ヒタル荷造綱ノ餘端ヲ以テ
駄鞍ニ結著シ

次ニ天幕體ヲ

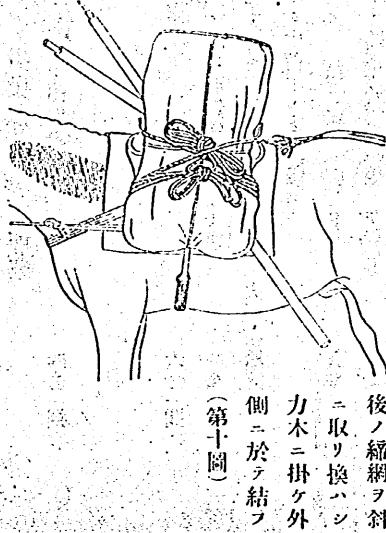
四人ノ兵卒ニ
テ高ク上ケ馬ノ後方ヨリ横
致シテ積ミ前
ニ駄鞍ノ上ニ

致シテ積ミ前

0486

圖十第一

載駄ノ幕天形錐方



後ノ縊綱ヲ斜
ニ取り換ハシ
力木ニ掛ケ外
側ニ於テ結フ

(第十圖)

附錄 車載品ヲ秋載スル爲ノ細色及點載

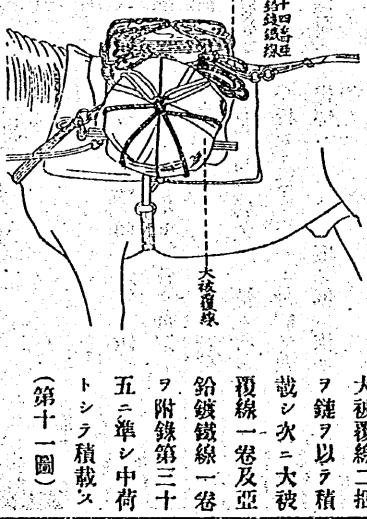
百二十五

0487

步兵彈藥縱列彈藥	
第三十九	附錄 車載品ヲ驮載スル爲ノ細包及袋載
第四十	三年式 機関銃甲彈藥箱
第四十一	步兵彈藥縱列彈藥 四(二捆)
第四十二	電信器材 柱 大被覆線 十四番亞鉛鍍鐵線 七五米 一卷 五卷 一卷 袋共 五百米
第四十三	本敷範第七十二ニ準シテ電柱ヲ積載シ次ニ亞鉛鍍鐵線ヲ附錄第 三十五ニ準シ中荷トシテ積載ス

0488

第十一圖
大被覆線四十及線被覆鉛亞



附錄

車載品ヲ駆載スル爲ノ捆包及裝載

百二十七

(第十一圖)

大被覆線二捆
ヲ鎖ヲ以テ積
載シ次ニ大被
覆線一卷及亞
鉛錫鐵線一卷
ヲ附錄第三十
五ニ準シ中荷
トシラ積載ス

附錄 車載品ヲ狀載スル爲ノ捆包及狀載

百二十八

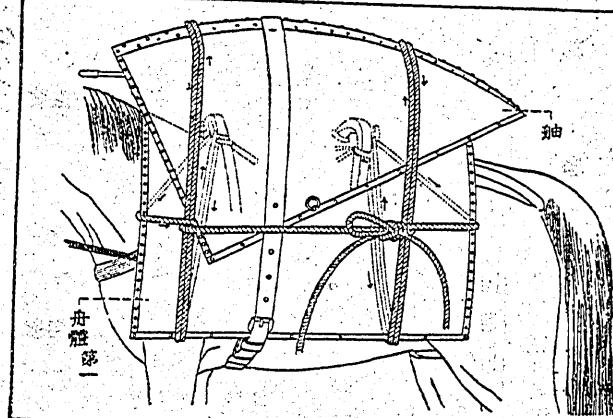
架橋縱列器材(舊式)

第四十二 船體 第一
二 (一捆)

附錄第三十八 從ヒ締綱ヲ準備シ舳及舟體ヲ四人ノ兵卒ニテ高
ク上ケ馬ノ後方ヨリ舟架ノ上ニ載セ縦骨ヲ舟架ノ溝ニ嵌メ鞍止
銀ヲ舟架ノ折釘ニ嵌メ折釘ヲ下方ニ向ケ鐵舟綱條ヲ舟體ノ上部
ヨリ炮ハシ腹帶ノ上ヲ經左側ニ於テ之ヲ締ム次ニ舟體ヲ越エテ
締綱ヲ左右兩側ヨリ平行シテ取り換ハシ舟體ノ内方ヲ經テ鉤ニ
掛ケ舟體ノ側面ニテ後部ニ掛ケタル縱ノ綱ニ依リ結フ(第十二
圖)

第十二圖

軸及舟體ノ駆載



0490

正義 原著品ノ改編ベシ於ハ原句改語也

四百十九

0491

第四十三

前條ニ準シテ積載ス

舟 踏 舟 踏 舟 艉 體 第二

繩 木 網 梁 板 體 第二

附錄 重載品ヲ駆載スル爲ノ捆包及駆載

百三十

二 一 三 四 一 三 四 二 一
(一捆) (一捆) (一捆)

0492

模合綱

二二

附錄第三十四ニ依リ縄綱ヲ準備シ先ツ錨綱、緊木ノ綱及模合綱ヲ右荷及左荷ト爲シ縄綱ノ環ヲ掛ケテ引き縄メ綱ヲ鉤ニ捲キテ止メ次ニ附錄第四十二ニ準シ舟體其他ヲ積載ス

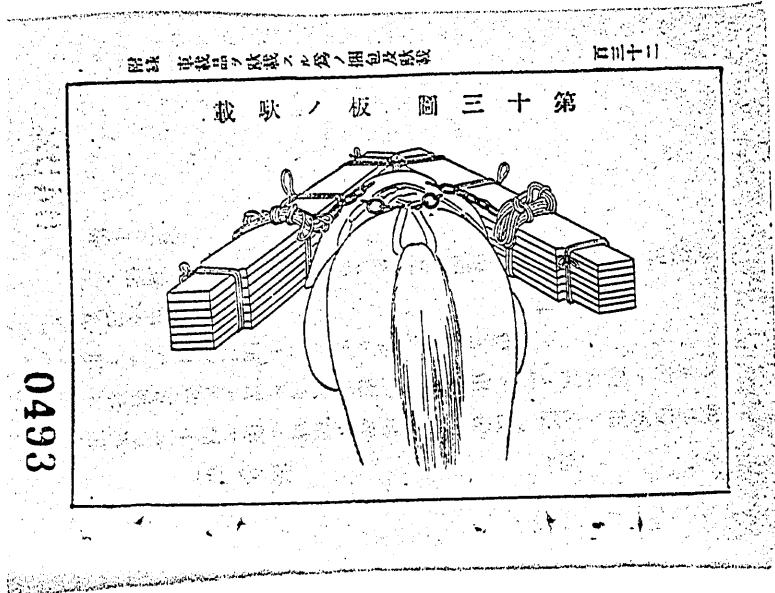
第四十五板

一四(二捆)

板ノ側面ヲ駄鞍ニ著タル如クシ本教範第七十二ニ準シテ積載ス
(第十三圖)

附錄 車載品ヲ駄鞍スル爲ノ捆包及駄鞍

百三十一



0494

第四十六

負
担
材

錨
綱

二
二
(二
捆)

緊
木

八
八
(一
捆)

緊
木
ノ
綱

二
二
(二
捆)

負担材及錨ノ本数第十七十二ニ準シテ積載シ次ニ緊綱、緊木及

緊木ノ綱ヲ附錄第三十五ニ準シ中荷トシテ積載ス

第四十七

冠
脚
材

一
一
一

踏
脚
材

二
二
二

板
材

二
二
二

附錄
車載品ヲ駆載スル爲ノ捆包及駆載

百三十三

架柱ノ細具袋(收入品共)

脚材ヲ右荷方(前)ニス冠材ヲ左荷トシ本教範第七十二ニ準シテ積載シ次ニ一番ノ前列ノ者ハ細具袋ヲ、其後列ノ者ハ跳板ヲ取り先ツ細具袋ヲ脚材ノ上ニ載セ其上ニ跳板ヲ繩綱ノ餘端ヲ孔ニ通シテ載セ附錄第三十五中荷ノ積載ニ準シテ積載ス

第四十八 大網

鏟ヲ以テ積載ス

第四十九 圓匙

十字鉗
斧

二四
一二
(二捆)

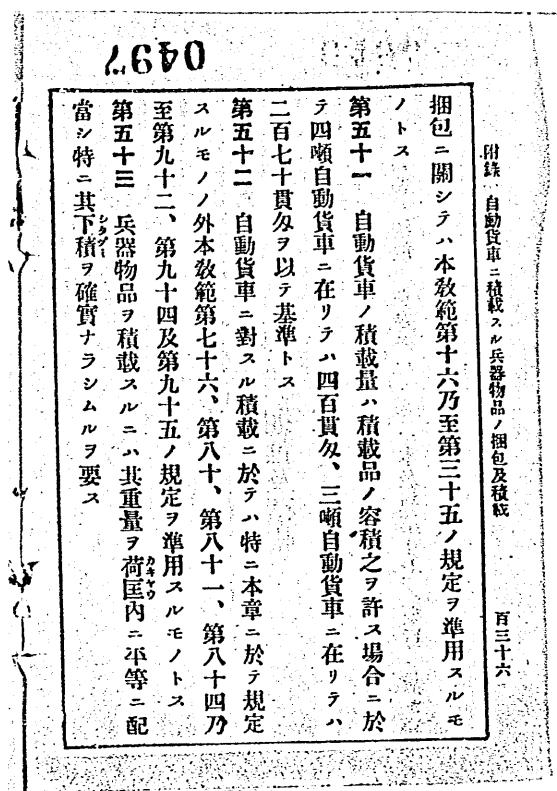
大 様

鎖ヲ以テ積載シ橋圓擔桿附屬ノ綱ノ餘端ヲカ木ノ内方ニ掛ケ之ヲ返シテ縱ノ綱ノ所ニテ結フ。

第四章 自動貨車ニ積載スル兵器

物品ノ捆包及積載

第五十 兵器物品ヲ自動貨車ニ積載スルニ云通常之カ捆包ヲ要セサルモノトス然レトモ兵器物品ノ種類ニ依リ破損紛失ヲ防ク等ノ爲特ニ捆包ノ必要アルトキハ本教範第十七ノ要旨ニ基キ適宜之ヲ行フモノトス



第五十四 數種ノ兵器物品ヲ二車ニ積載スルトキハ其種類、形態、重量等ヲ顧慮シ特ニ其保全ト安定トヲ害セサル如ク積載ノ方法ニ注意スルヲ要ス。

第五十五 重量輕ク容積大ナル兵器物品ヲ積載スルトキハ其安定ヲ害セサルヲ度トシテ高ク積ムハトヲ得ヘント雖其幅ハ通常荷匡ノ側板外ニ出テサル如クナルヲ要ス。

第五十六 長キ兵器物品ヲ積載スルニハ通常荷匡ノ後板ヲ開キ兵器物品ノ餘端ヲ荷匡外ニ出タス如クシテ積ムモノトス若長度又ハ重量過大ナル爲此方法ニ依リ難キトキハ荷匡ノ後端ニ枕木又ハ支材ヲ裝置シ所要ニ應シ兵器物品ノ後部ヲ高ク支持シ車體

0499

ニ對スル配重其他ノ關係ヲ良好ナラシムル如ク積ムモノトス
第五十七 積載卸下ハ通常四人一組ニテ行フモノトス
第五十八 積載スヘキ兵器物品ハ本教範第二十四ニ準シテ集積
シ其後方ニ車輛ヲ後端ヲ兵器物品ニ對セシメ成ルヘク之ニ近ク
位置セシムルモノトス但積載前豫メ荷匡ノ後板ヲ開キ荷網及附
載品ヲ車輛ノ後端下ニ卸スモノトス
第五十九 四人一組ニテ積載卸下ヲ行フニハ本教範第六十四ニ
準ス但一番ハ積載品ヲ運ヒ二番ハ荷匡内ニ在リテ動作スルモノ
トス
第六十 積載品ヲ荷匡内ニ積ミ重ヌルニ方リ要スレハ積載品ノ

0500

捆包積載教範附錄 終

附錄：自動貨車ニ積載スル兵器物品ノ捆包及積載

百三十九

種類妨ナキモノニ限り既ニ積ミタルモノニ上リテ動作スルコト
アリ

第六十一 積載終レハ荷匡ノ後板ヲ閉ツルモノトス而シテ荷綱
ハ積載品ノ容積過大ナル等特別ノ場合ノ外通常之ヲ掛クルヲ要
セサルモノトス

0501

昭和十三年四月一日印 刷
昭和十三年四月五日發 行

定價金貳拾伍錢
送料參錢

東京市神田區錦町一丁目十五番地
翻刻發行

藤 谷 芳 三 郎

關東販賣所

東京市神田區錦町一丁目十五番地

兵書出版社

藤谷崇文館

振替東京
大阪市西區
兵書出版社
中通一丁目九番地
藤谷崇文館
六三三三三番
一七五八〇番

關西販賣所

兵書出版社
藤谷崇文館
大阪市西區
中通一丁目九番地
藤谷崇文館
六三三三三番
一七五八〇番